

平成 30 年度 事業報告書

学校法人 大妻学院

I 学校法人の概要

【学院の使命(建学の精神)】

明治41年(1908年)、学祖大妻コタカが夫良馬とともに紀尾井町に女性のための裁縫・手芸の家塾を開設することにより、その呱呱の声をあげた。学院はその後、激動の時代を生き、長い歴史を辿り、現在1つの大学院研究科、5つの学部及び1短期大学部をもつ大妻女子大学、大妻中学高等学校、大妻多摩中学高等学校、大妻中野中学高等学校、大妻嵐山中学高等学校を擁する総合研究教育機関となった。

現在、学生・生徒の総数は12,000人を超える状況である。またこれまでの卒業生の総数は19万人に及んでいる。

創立百有余年を経て、社会や環境は、社会的な規模で急速な変化の時代が来ているが、学院は、安定的な財政基盤を維持し、学祖の建学の精神を新しい時代の文脈の中で組織的に教育・研究・地域活動に活かすことにより、豊かな教養と思いやりの心をもち合わせた、真に自立した女性を育成するための教育を設置の各学校において適切に行っている。

【沿革】

明治41年	裁縫・手芸の家塾を開設
大正5年	私立大妻技芸伝習所設置(東京府認可、各種学校)
大正6年	私立大妻技芸伝習所を私立大妻技芸学校に変更 校訓「恥を知れ」・校歌制定
大正8年	私立大妻実科高等女学校併設 私立大妻技芸学校に夜間部設置
大正10年	私立大妻実科高等女学校を4年制の私立大妻高等女学校に組織変更
大正11年	大妻技芸学校を実業学校に組織変更 大妻中等夜学校(各種学校)設立
大正12年	私立大妻高等女学校廃止(本科のみの大妻高等女学校とする。)
大正14年	大妻中等夜学校廃止 大妻技芸学校に技芸科第二部(夜間)設置
昭和4年	財団法人大妻学院認可
昭和12年	高等女学校の修業年限を5年制に変更
昭和14年	技芸学校第二部を大妻第二技芸学校に組織変更
昭和17年	大妻女子専門学校設置認可 技芸学校高等科を吸収 家政科、技芸科、家庭科 設置 商経科増設
昭和18年	大妻技芸学校を大妻高等女学校に併合
昭和21年	大妻技芸学校・大妻高等技芸学校本科・大妻第二技芸学校廃止し、大妻高等女学校・大妻学院高等女学校(新設一夜間)に併合改組
昭和22年	大妻中学校設置
昭和23年	大妻高等学校・大妻学院高等学校設置 大妻高等女学校・大妻学院高等女学校は卒業を待って廃止
昭和24年	大妻女子大学家政学部被服学科・食物学科・家庭理学科・別科設置
昭和25年	大妻女子大学家政学部被服学科・食物学科を家政学科に統合 大妻女子大学短期大学部家政科第一部・第二部設置
昭和26年	財団法人大妻学院を学校法人大妻学院に組織変更 大妻女子専門学校を学制改革により廃止
昭和28年	新校旗・新校歌制定
昭和40年	大妻学院高等学校・大妻高等技芸学校廃止
昭和42年	埼玉県入間市に狭山台校(含、学寮)開設 文学部国文学科・英文学科、短期大学部国文科・英文科設置
昭和43年	家政学部被服学科・児童学科設置 家政学部家政学科を食物学科に変更
昭和44年	加賀寮(学寮)竣工

昭和 47 年	大学院家政学研究科食物学専攻（修士）、文学研究科国文学専攻（修士）・英文学専攻（修士）設置 児童臨床相談室開室
昭和 52 年	大学院家政学研究科児童学専攻（修士）設置
昭和 55 年	大学院家政学研究科被服学専攻（修士）設置
昭和 56 年	人間生活科学研究所設置
昭和 57 年	大学院家政学研究科被服環境学専攻（博士）設置
昭和 63 年	多摩市上小山田に多摩校開設 短期大学部生活科・日本文学科・実務英語科設置（多摩校） 大妻多摩高等学校設置認可
平成 2 年	健康センター開設
平成 4 年	社会情報学部社会情報学科設置（多摩校） 児童臨床相談室を発展的に改組し、家政学部に児童臨床研究センター設置
平成 5 年	大妻多摩中学校設置
平成 8 年	大学院家政学研究科被服環境学専攻（博士）を家政学研究科人間生活学専攻（博士）に変更・改組 大学院文学研究科国文学専攻（博士）・英文学専攻（博士）設置 大学院社会情報研究科社会生活情報専攻（修士）設置
平成 10 年	文学部国文学科を日本文学科に変更
平成 11 年	人間関係学部人間関係学科・人間福祉学科、比較文化学部比較文化学科設置（多摩校） 草稿テキスト研究所設置
平成 13 年	短期大学部生活科・日本文学科・実務英語科廃止（多摩校）
平成 14 年	家政学部ライフデザイン学科、文学部コミュニケーション文化学科設置
平成 15 年	短期大学部家政科第二部廃止 心理相談センター開設 大学院人間関係学研究科社会学専攻（修士）・臨床社会心理学専攻（修士）設置
平成 17 年	大学院人間関係学研究科臨床社会心理学専攻（修士）を臨床心理学専攻（修士）に変更
平成 18 年	学校法人出資会社「大妻サポート」設立 学生相談センター開設 生活科学資料館開設
平成 20 年	人間生活科学研究所を人間生活文化研究所に変更 図書館及び情報メディアセンターを統合して総合情報センター開設 大妻学院創立 100 周年を迎える
平成 21 年	社会情報学部社会情報学科社会環境情報学専攻を環境情報学専攻、社会情報処理学専攻を情報デザイン専攻、人間関係学部人間関係学科社会心理学専攻を社会・臨床心理学専攻に変更（多摩校）
平成 22 年	大学院家政学研究科、文学研究科、社会情報研究科、人間関係学研究科を人間文化研究科に改組 3 キャンパスにわたる 5 学部 1 短大の教養科目を全学共通化
平成 23 年	短期大学部家政科生活総合ビジネス専攻設置 キャリア教育センター開設、教職総合支援センター開設 千代田キャンパス再開発プロジェクト始動
平成 24 年	世田谷区北烏山に大妻久我山寮開寮 大妻女子大学生活科学資料館を大妻女子大学博物館に変更
平成 25 年	学校法人誠美学園を吸収、合併 国際センター、地域連携推進センター開設 大妻学院情報戦略会議設置 大妻学院本館 E 棟竣工

平成 26 年	大妻女子大学別館（J 棟）竣工
	大妻学院本館 F 棟竣工
平成 27 年	大妻女子大学加賀寮竣工
	狭山台キャンパス閉校
	大妻女子大学家政学部食物学科食物学専攻の入学定員を 50 名から 80 名に増員
平成 28 年	大妻女子大学校舎（H 棟）竣工
	大妻女子大学校舎（G 棟）竣工
	大妻女子大学比較文化学部を多摩校から千代田校に移転（1 年次のみ）
	管理栄養士スキルアップセンター開設
平成 29 年	大妻女子大学校舎（K 棟）竣工
	大妻女子大学社会情報学部を多摩校から千代田校に移転（1 年次のみ）
	大妻女子大学比較文化学部を多摩校から千代田校に移転（2～4 年次）
	英語教育研究所設置
平成 30 年	大妻女子大学社会情報学部を多摩校から千代田校に移転（2～4 年次）
	大妻学院創立 110 周年を迎える

【設置学校の所在地・入学定員・収容定員・入学者数・在籍者数など】

平成30年5月1日現在

教育機関名	学部学科等		※	入学定員	収容定員	入学者数	在籍者数	
大妻女子大学 大学院	人間文化研究科 (博士後期課程)	人間生活科学専攻	千	3	9	0	4	
		言語文化学専攻	千	3	9	1	5	
	人間文化研究科 (修士課程)	人間生活科学専攻	千	12	24	8	19	
		言語文化学専攻	千	8	16	3	10	
		現代社会研究専攻	千	6	12	2	3	
	臨床心理学専攻	多	6	12	5	12		
	大学院 計			38	82	19	53	
大妻女子大学	家政学部	被服学科	千	110	460	128	480	
		食物学科	食物学専攻	千	80	320	79	332
			管理栄養士専攻	千	50	200	52	212
		児童学科	児童学専攻	千	50	200	55	211
			児童教育専攻	千	60	250	66	259
		ライフデザイン学科	千	120	500	125	503	
	文学部	日本文学科	千	120	500	136	490	
		英文学科	千	120	500	123	493	
		コミュニケーション文化学科	千	120	500	126	504	
	社会情報学部	社会情報学科	社会生活情報学専攻	千	100	420	122	490
			環境情報学専攻	千	100	420	122	419
			情報デザイン専攻	千	100	420	123	487
	人間関係学部	人間関係学科	社会学専攻	多	75	320	94	377
			社会・臨床心理学専攻 (1年)	多	75	320	91	368
		人間福祉学科	人間福祉学専攻(2~4年)	多	100	100	111	111
			介護福祉学専攻(2~4年)	多	—	230	—	257
		比較文化学部	比較文化学科	千	165	690	188	47
		大学 計			1,545	6,440	1741	6778
	大妻女子大学 短期大学部	家政科	家政専攻	千	90	180	113	209
			生活総合ビジネス専攻	千	70	140	90	179
食物栄養専攻			千	110	220	96	199	
国文科			千	40	80	43	94	
	英文科		千	40	80	48	100	
	短大 計			350	700	390	781	
大妻高等学校		千	280	840	283	822		
大妻中学校		千	280	840	285	883		
大妻多摩高等学校		多	140	420	155	450		
大妻多摩中学校		多	140	420	165	486		
大妻中野高等学校		中	221	663	227	701		
大妻中野中学校		中	221	663	251	766		
大妻嵐山高等学校		嵐	180	540	101	415		
大妻嵐山中学校		嵐	80	240	69	141		

※ 所在地 千： 東京都千代田区三番町12

多： 東京都多摩市唐木田2-7-1

中： 東京都中野区上高田2-3-7

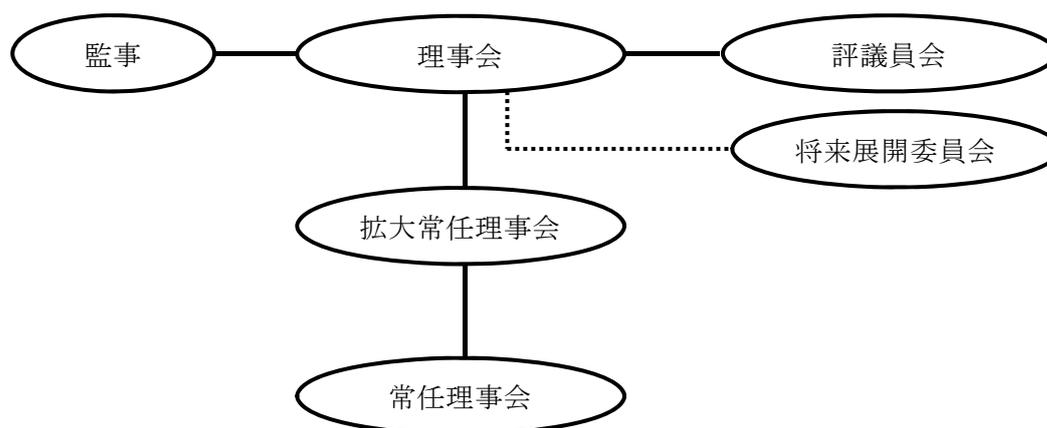
嵐： 埼玉県比企郡嵐山町菅谷558

平成 30 年 5 月 1 日現在

大学寮	所在地	収容定員	在寮生数
加賀寮	東京都新宿区市ヶ谷加賀町 2-4-31	355	237
久我山寮	東京都世田谷区北烏山 4-22-31	200	67

研究所・センターなど	所在地
総合情報センター 健康センター 学生相談センター キャリア教育センター 教職総合支援センター 英語教育研究所	東京都千代田区三番町 1 2 東京都多摩市唐木田 2-7-1
人間生活文化研究所 国際センター 地域連携推進センター 博物館 児童臨床研究センター 管理栄養士スキルアップセンター 草稿・テキスト研究所	東京都千代田区三番町 1 2
心理相談センター	東京都多摩市唐木田 2-7-1

【法人の管理運営体制】



【理事・評議員・監事】

(平成30年6月1日現在)

定員： 理事 9人以上 12人以内 監事 2人 評議員 31人以上 40人以内

理事 12名 (理事長) 伊藤 正直
 大澤 清二 成島 由美 鈴木 勉 屋敷 和子
 重吉 博右 藤井 順輔 南 砂 岡 俊明
 青江誠一郎 村木 厚子 井上小百合

監事 2名
 竹内 洋 呑山委佐子

評議員 38名
 井上美沙子 高山 宏 堀江 正一 村上 丘
 下坂 智恵 山倉 健嗣 小川 浩 原 研二
 谷林真理子 野崎 裕二 真下 峯子 豊田 喜衛
 鈴木 大洋 安川 瑛子 野崎 昭弘 矢後 文子
 東明佐久良 是枝 祥子 内藤 まり 津田 一江
 山田 功 山本 里子 田村 浩二 来住野 徹
 高原 賢一 柿澤 源之 理事 12名

【教職員の概要】

[教員]

平成30年5月1日現在

	学長・副学長・校長	専任										非常勤			専任・非常勤合計	
		教授	准教授	専任講師	助教	助手	学務助手	学芸員	インテークワーカー	教諭等	実習助手等	計	非常勤講師	非常勤助手		計
法人																
大学	3	122	48	24	5	27	34	1	1			262	509			771
短大	1	19	7	1		11	7					45	80			125
高校	1									43	1	44	20			64
多摩高校	1									26	2	28	15			43
中野高校	1									36		36	12			48
嵐山高校	1									30		30	28			58
中学										42		42	22			64
多摩中学										21		21	11			32
中野中学										43		43	16			59
嵐山中学										14		14	4			18
計	8	141	55	25	5	38	41	1	1	255	3	565	717	0		1,282

[職員]

平成30年5月1日現在

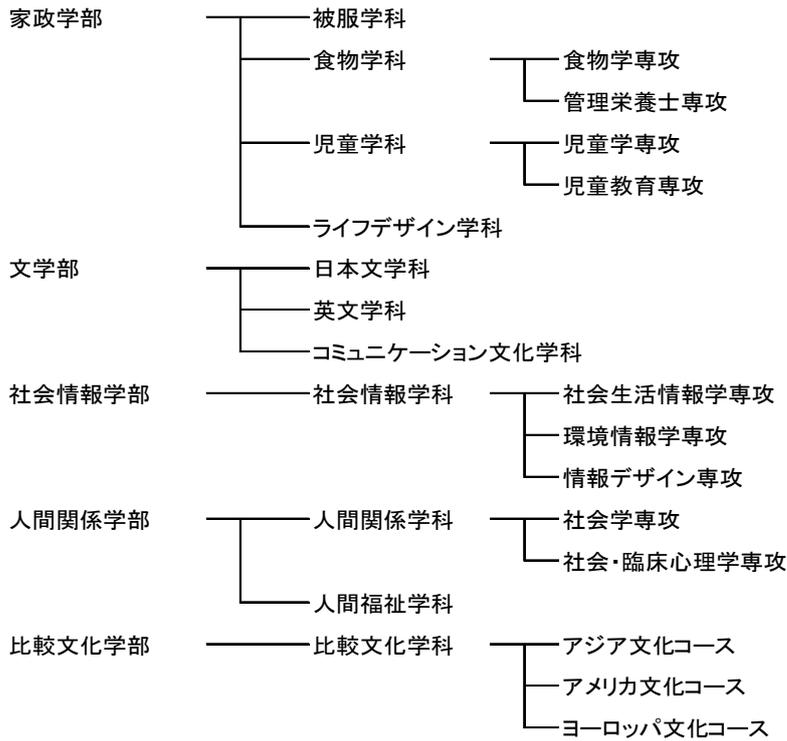
	専任								非常勤					合計	
	事務職員	看護師	カウンセラー	寮監	守衛	用務員・雇用員	学寮給食係	学寮受付係	計	医務員	職員	授業補助員	カウンセラー		計
法人	4								4						4
大学	139	4	3	2					148	8	35	67	19	129	277
短大	18						2		20	3	16	6		25	45
高校	11	1			1	1			14	2	6		1	9	23
多摩高校	4	1							5	1	4		2	7	12
中野高校	11								11	3	17			20	31
嵐山高校	5								5	2	4		2	8	13
中学	1	1			1				3		4			4	7
多摩中学	2	1			1				4	1	3			4	8
中野中学	2								2	1	6	3		10	12
嵐山中学	1								1		1			1	2
計	198	8	3	2	3	1	2		217	21	96	76	24	217	434

【大学院・大学・短期大学部構成】

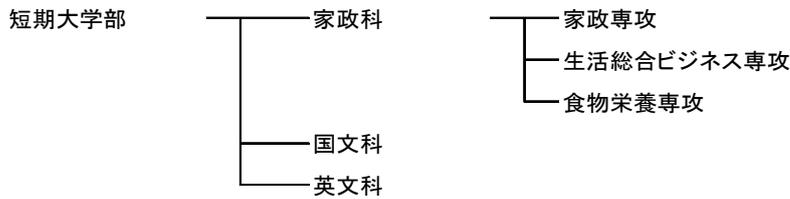
大妻女子大学大学院



大妻女子大学

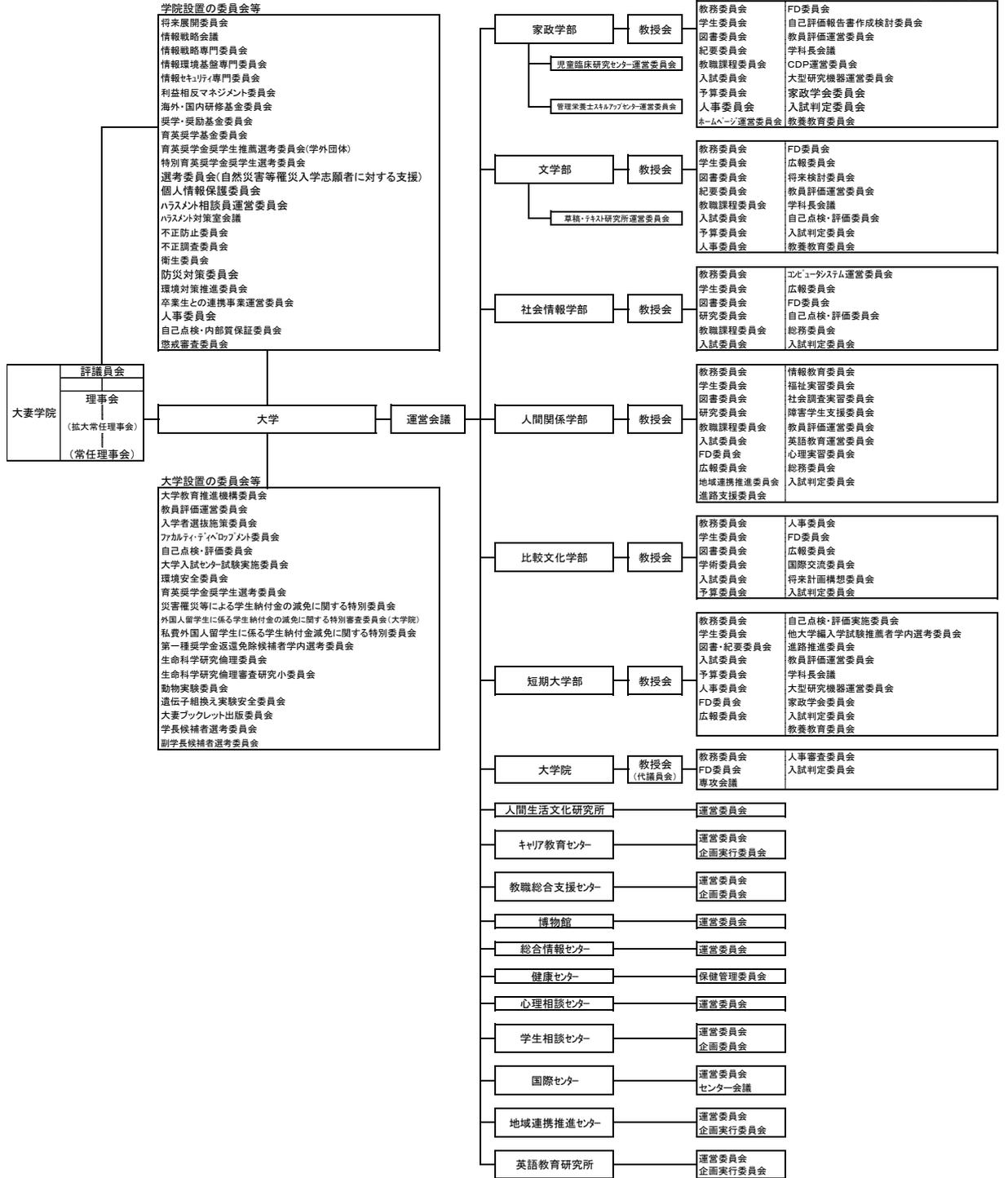


大妻女子大学短期大学部

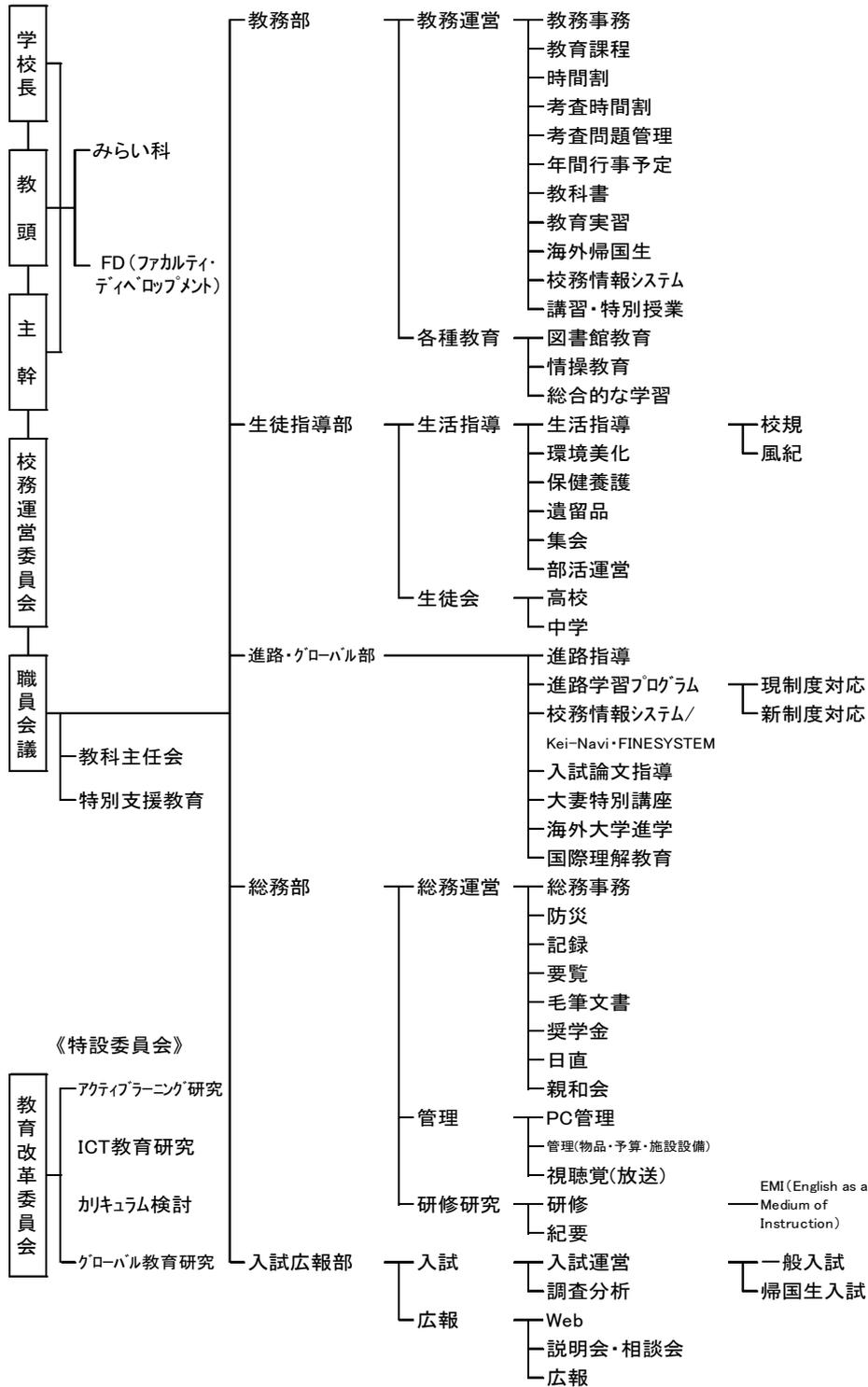


【大学院・大学・短期大学の委員会】

平成31年3月31日



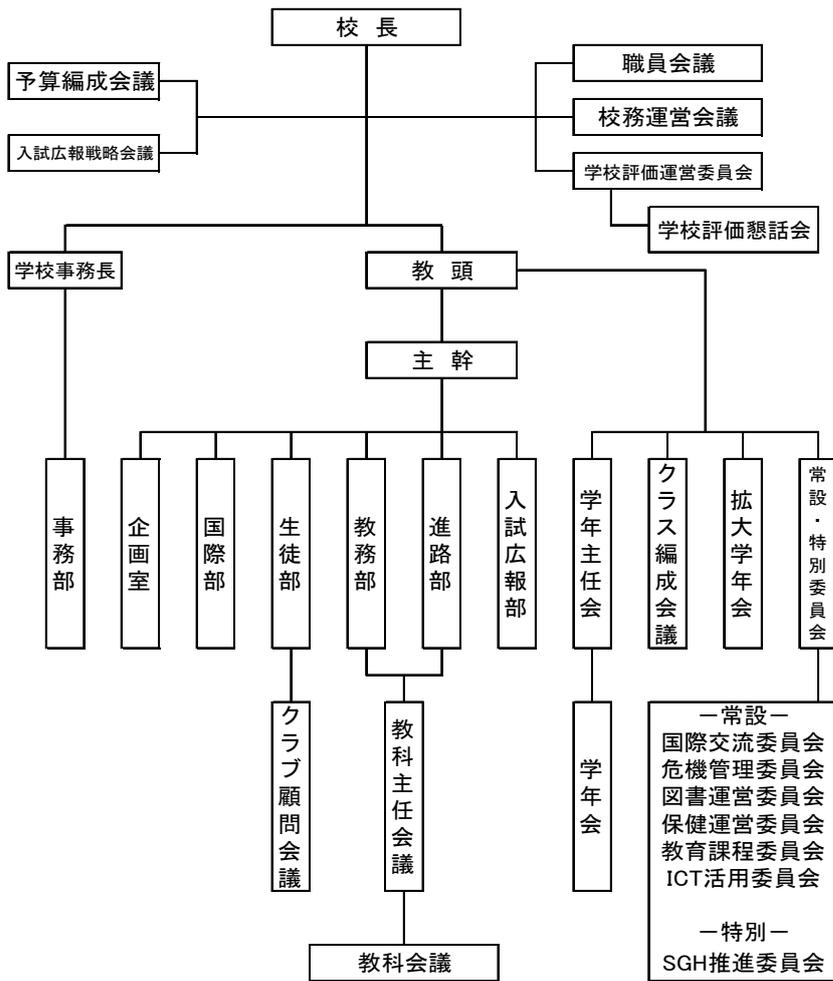
【大妻中学校・高等学校校務運営組織】



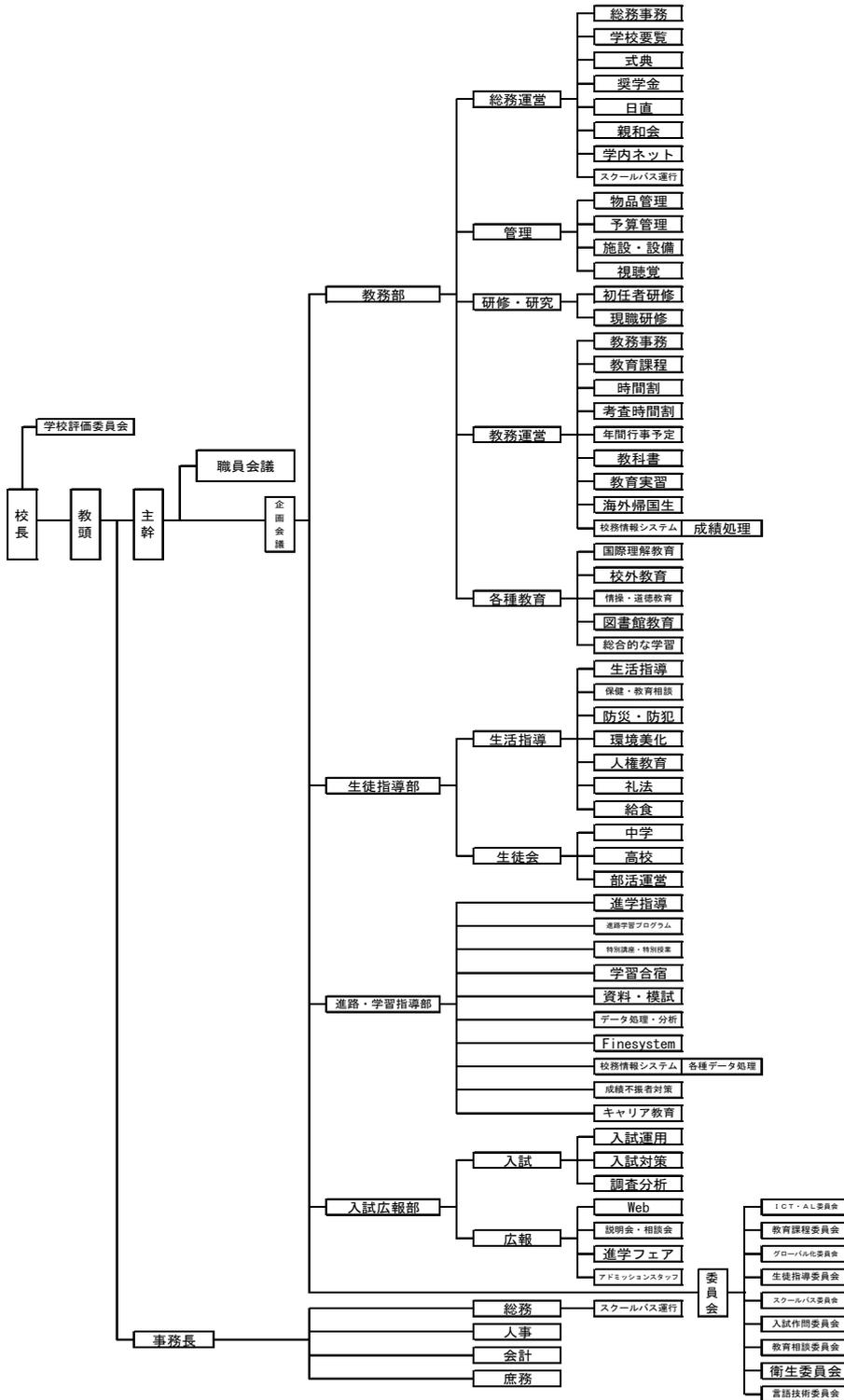
【大妻多摩中学校・高等学校校務運営組織】



【大妻中野中学校・高等学校校務運営組織】



【大妻嵐山中学校・高等学校校務運営組織】



【土地・建物】

○土地の面積（平成31年3月31日現在）

	敷地種別	面積(m ²)	所在地
千代田校団地	大学・短大校舎敷地	5,958.92	東京都千代田区三番町12-1他
	大学・短大校舎敷地	5,345.23	東京都千代田区三番町8-3他
	大学・短大校舎敷地	2,065.34	東京都千代田区三番町10-1他
	大学・短大校舎敷地	1,481.67	東京都千代田区三番町28-1
	中学・高校校舎敷地	4,674.43	東京都千代田区三番町5-2他
	大学・短大校舎敷地	232.00	東京都千代田区三番町5-4他
	大学・短大校舎敷地	989.64	東京都千代田区三番町7-8他
	大学・短大校舎敷地	346.78	東京都千代田区三番町5-40他
	中学・高校運動場	905.71	東京都千代田区三番町7-7
	計	21,999.72	
加賀寮団地	寄宿舎敷地	3,683.14	東京都新宿区市谷加賀町2-16-1他
	計	3,683.14	
多摩校団地	大学校舎敷地	29,350.00	東京都多摩市唐木田2-7-1他
	中学・高校校舎敷地	10,133.00	〃
	大学・短大運動場	54,452.00	〃
	中学・高校運動場	8,741.00	〃
	計	102,676.00	
中野校団地	中学・高校校舎敷地	8,166.71	東京都中野区上高田2-88他
	中学・高校運動場	1,899.90	東京都中野区上高田2-91-1他
	計	10,066.61	
杉並グランド団地	中学・高校校舎敷地	744.21	東京都杉並区和泉4-692他
	中学・高校運動場	3,885.79	東京都杉並区和泉4-693他
	計	4,630.00	
嵐山校団地	中学・高校校舎敷地・運動場	15,792.00	埼玉県比企郡嵐山町大字菅谷字向原551-1
	中学・高校校舎敷地・運動場	566.00	埼玉県比企郡嵐山町大字菅谷字向原551-3
	中学・高校校舎敷地	490.00	埼玉県比企郡嵐山町大字菅谷字向原558-6
	中学・高校校舎敷地	1,415.00	埼玉県比企郡嵐山町大字菅谷字向原558-7
	中学・高校校舎敷地	619.00	埼玉県比企郡嵐山町大字菅谷字向原559-1
	中学・高校校舎敷地	426.00	埼玉県比企郡嵐山町大字菅谷字向原559-2
	中学・高校校舎敷地	2,457.00	埼玉県比企郡嵐山町大字菅谷字上石堂817-2
	中学・高校運動場	6,431.00	埼玉県比企郡嵐山町大字千手堂字中原152-1
	中学・高校校舎敷地	50.00	埼玉県比企郡嵐山町大字千手堂字中原212-3
	中学・高校運動場	3,199.00	埼玉県比企郡嵐山町大字千手堂字山王229-1
	計	31,445.00	
法人所有地	総計	174,500.47	
借用土地		9,116.00	埼玉県比企郡嵐山町大字千手堂字山王218-1他

○建物の面積（平成31年3月31日現在）

団地	建物名	延床面積㎡	構造	所在地
千代田校団地	大学校舎(A～D棟)	23,777.14	鉄骨鉄筋コンクリート・鉄筋コンクリート造陸屋根地下2階付9階建	東京都千代田区三番町12-2他
	ゴミ置場	26.18	鉄筋コンクリート造陸屋根平家建	〃
	チェックブース	4.53	鉄筋コンクリート造陸屋根平家建	〃
	中学高校 体育館	1,481.79	鉄筋コンクリート造陸屋根2階建	東京都千代田区三番町5-20他
	中学高校 校舎棟	15,004.05	鉄骨鉄筋コンクリート・鉄骨造陸屋根地下1階付9階建	東京都千代田区三番町5-5他
	図書館棟・ゴミ置場	7,433.17	鉄骨・鉄筋コンクリート・鉄骨鉄筋コンクリート造陸屋根地下4階付6階建	東京都千代田区三番町7-8他
	別館(J棟)	1,153.77	鉄骨造陸屋根7階建	東京都千代田区三番町5-36他
	本館(E・F棟)	22,236.96	鉄骨・鉄骨鉄筋コンクリート造陸屋根地下1階付12階建	東京都千代田区三番町8-8他
	大学校舎(G棟)	8,140.35	鉄骨・鉄骨鉄筋コンクリート造陸屋根地下2階付7階建	東京都千代田区三番町10-3他
	大学校舎(H棟)	5,944.02	鉄骨・鉄骨鉄筋コンクリート・鉄筋コンクリート造陸屋根地下2階付8階建	東京都千代田区三番町28-1
	大学校舎(K棟)	1,571.11	鉄筋コンクリート造陸屋根地下1階付7階建	東京都千代田区三番町5-40
	防災倉庫1	8.10	軽量鉄骨造亜鉛メッキ鋼板ぶき平家建	東京都千代田区三番町5-5他
	防災倉庫2	8.10	軽量鉄骨造亜鉛メッキ鋼板ぶき平家建	東京都千代田区三番町5-20他
	計	86,789.27		
加賀寮団地	大妻加賀寮	9,304.52	鉄筋コンクリート造陸屋根地下1階付6階建	東京都新宿区市谷加賀町2-16-1他
	計	9,304.52		
多摩校団地	1号館	697.27	鉄筋コンクリート造陸屋根2階建	東京都多摩市唐木田2-7-1他
	2号館(学生会館)	4,396.95	鉄筋コンクリート造陸屋根・鋼板葺4階建	〃
	3号館	4,859.61	鉄筋コンクリート造陸屋根・鋼板・ガラス板葺4階建	〃
	4号館(図書館棟)	5,122.09	鉄筋コンクリート・鉄骨造陸屋根鋼板・亜鉛メッキ鋼板葺4階建	〃
	5号館(体育館棟)	2,853.29	鉄筋コンクリート造鋼板葺2階建	〃
	6号館	6,473.12	鉄筋コンクリート造陸屋根4階建	〃
	7号館	8,134.37	鉄筋コンクリート造陸屋根4階建	〃
	中学高校棟	14,128.93	鉄筋コンクリート・鉄骨造陸屋根鋼板・合金メッキ鋼板ぶき5階建	〃
	エネルギーセンター	575.79	鉄筋コンクリート造陸屋根平家建	〃
	機械室	20.90	鉄筋コンクリート造鋼板葺平家建	〃
	守衛室(1)	18.65	鉄筋コンクリート造鋼板葺平家建	〃
	守衛室(2)	5.00	鉄筋コンクリート造陸屋根平家建	〃
	守衛室(3)	1.71	鉄骨造平家建	〃

	ゴミ置場	25.75	鉄筋コンクリート造コンクリート屋根平家建	〃
	倉庫	25.75	鉄筋コンクリート造コンクリート屋根平家建	〃
	休憩室	27.11	軽量鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺平家建	〃
	段差解消用エレベーター棟	7.80	鉄筋コンクリート造	〃
	防災倉庫1	48.96	軽量鉄骨造亜鉛メッキ鋼板ぶき平家建	〃
	防災倉庫2	11.71	軽量鉄骨造亜鉛メッキ鋼板ぶき平家建	〃
	計	47,434.76		
中野校団地	1・2号館	17,469.94	鉄骨鉄筋コンクリート・鉄筋コンクリート造陸屋根地下2階付7階建	東京都中野区上高田2-88他
	グラウンド倉庫	66.15	軽量鉄骨造亜鉛メッキ鋼板ぶき平家建	〃
	計	17,536.09		
杉並グラウンド団地	杉並グラウンド管理棟	345.50	鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺2階建	東京都杉並区和泉4-692他
	計	345.50		
嵐山校団地	1・2号館	6,646.80	鉄筋コンクリート造ルーフィング葺陸屋根4階建	埼玉県比企郡嵐山町大字菅谷字向原551-1他
	3号館、第二体育館	1,764.21	鉄筋コンクリート造陸屋根4階建	〃
	第一体育館	2,403.63	鉄骨鉄筋コンクリート造亜鉛メッキ鋼板葺3階建	〃
	4号館	456.73	鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺平家建	埼玉県比企郡嵐山町大字菅谷字向原551-1
	倉庫	39.74	軽量鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺平家建	〃
	体育クラブ室	79.49	軽量鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺平家建	〃
	ガードマンボックス	3.55	軽量鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺平家建	〃
	食堂棟	783.83	鉄筋コンクリート造亜鉛メッキ鋼板葺陸屋根2階建	〃
	倉庫	6.92	鉄骨造平家建	埼玉県比企郡嵐山町大字千手堂字山王229-1
	計	12,184.90		
総計	173,595.04			

【関連する会社】

株式会社大妻サポート

所在地 東京都千代田区九段南2-7-6 マニュアルプレイス九段南4階

代表者 代表取締役 重吉博右

設立年月日 平成18年6月1日

資本金 1,000万円

II 事業の概要

【大妻学院のミッション】

学祖大妻コタカの建学の精神を、新しい時代の文脈の中で、組織的に教育・研究・地域活動に活かすことにより、豊かな教養と思いやりの心をもち合わせた、真に自立した女性を育成し、社会関係資本の充実を図ることで、健全で持続可能な社会の実現に貢献する。

【大妻学院の教育目標】

- 大学（大学院及び短期大学部を含む）
 - 1 総合的な人間教育により社会の構成員として自覚と識見を有する人材の育成
 - 2 中核的な指導的役割を果たすことができる専門職業人女性の育成
 - 3 女子高等教育の後継者の育成
 - 4 地域との連携において指導的役割を果たせる人材の育成
- 中学高等学校
 - 1 人間性が豊かで自立可能な女性の育成
 - 2 社会をリードできる女性リーダーとしての素養の養成
 - 3 知的好奇心を醸成し視野の広い洞察力を有する女性の育成
 - 4 自己管理能力を高め互いに尊重しあえる女性の育成

【大妻学院の経営指針】

- 主に大学（大学院及び短期大学部を含む）
 - 1 大学院・学部・短大・附置研の教育組織に関する不断の見直し
 - 2 学部・学科・専攻・事務部門の連携強化及び学士力の確保
 - 3 全学的なカリキュラム連携の推進
 - 4 組織的な学生支援体制の強化及び学生サービスの改善
 - 5 附置研究所の機能強化及び外部資金の積極的な獲得
- 主に中学高等学校
 - 1 進学型中高一貫校としての地位確立
 - 2 中高と大学との連携
- 学院全体
 - 1 社会的責任
 - 2 国際交流の活性化
 - 3 法人組織の管理運営体制の見直し
 - 4 財政のさらなる健全化

【情報公開状況】

- 1 学院に関する情報
 - ア 寄附行為
 - イ 法人組織図
 - ウ 教職員数
 - エ 学院の取り組みについて
 - a 個人情報保護
 - b ハラスメント防止対策
 - c 一般事業主行動計画
 - d 地球温暖化対策報告書
 - e 女性活躍推進法に関する情報公開
 - オ 財務報告

2 大学に関する情報

ア 大学の教育研究上の目的に関すること

- a 教育理念
- b 大学、大学院及び短期大学の教育研究上の目的
- c 学則など諸規程
- d 校訓

イ 教育研究上の基本組織に関すること

- a 組織図
学部・学科・大学院構成図
法人組織図

ウ 教育組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

- a 教員数
大学の学部・学科別専任教員数、及び法令上必要な専任教員数
大学の専任教員の構成(職名別・年代別・男女別)
大学の専任教員一人当たり学生数
大学の専任教員と非常勤教員の比率
大学の助手の構成(年代別・男女別)
短期大学の学部・学科別専任教員数、及び法令上必要な専任教員数
短期大学の専任教員の構成(職名別・年代別・男女別)
短期大学の専任教員一人当たり学生数
短期大学の専任教員と非常勤教員の比率
短期大学の助手の構成(年代別・男女別)
- b 組織(委員会)
- c 教員関連情報
大妻女子大学研究者データベース
大妻女子大学学術情報リポジトリ
研究助成情報

エ 入学者に関する受入方針及び入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

- a 大学、大学院及び短期大学の入学者受入の方針
- b 募集人員
- c 入試概要
- d 過去の入試データ
- e 収容定員
- f 在籍学生数(収容定員・収容定員充足率)
- g 入学者数
- h 外国人留学生受入数
- i 退学・除籍者数
- j 卒業者・修了者数
- k 就職・進学等の状況
学科別就職率
産業別就職率・就職先
進路状況
主な就職先
過去5年間の求人件数

オ 授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

- a 大学、大学院及び短期大学の教育課程編成・実施の方針
- b シラバス

カ 学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

- a 大学、大学院及び短期大学の学位授与の方針
- b 成績評価基準

- c 卒業必要単位数
- d 卒業・修了するために必要な要件
- e 取得可能な学位
- キ 校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること
 - a 校舎等の施設及び設備
 - b 交通アクセス
 - c 課外活動の状況及びそのために用いる施設
- ク 授業料、入学料その他の大学が徴収する費用に関すること
 - a 入学手続時納入金等
 - b 2年次以降の納入金
 - c 学寮費
- ケ 大学が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること
 - a 就学支援
 - 単位互換制度・他学部履修
 - 免許・資格一覧・概要
 - 教職総合支援センター
 - 課外講習
 - b 海外留学・国際交流
 - 協定校・提携校一覧
 - 海外留学用奨学金
 - 外国人留学生受け入れ
 - 国際センター
 - c 奨学金制度
 - d 進路・就職支援
 - 就職支援センターの利用について
 - 就職支援の流れ
 - サポート体制
 - キャリア教育センター
 - 大妻マネジメントアカデミー
 - e 心身の健康サポート
 - 健康センター
 - 学生相談センター
 - f 学生生活のサポート
 - 学生生活の手引き
- コ 自己点検・評価及び外部評価に関する情報
 - a 教員評価
 - b 第三者評価
- サ 学修時間・学修実態
- シ 資格取得実績
- ス 連携活動・社会貢献
 - 大学の取り組み
- 3 中高に関する情報
 - ア 教育目標
 - イ 沿革
 - ウ 学校の概要
 - エ 教育課程
 - オ 行事予定
 - カ 卒業生の進路概況
 - キ 中学校の受験者数、合格者数及び入学者数
 - ク 学校評価

【大妻女子大学(大学院及び短期大学部を含む)の事業報告】

本年度の計画に対する進捗状況

1 大学等教育組織改革

- ①大学院人間文化研究科人間生活科学専攻（修士課程）「児童発達臨床学専修」を、専攻内での専門教育の内容を明確にするため、平成30年度入学生より「保育・教育学専修」へ名称変更した。
- ②平成30年度入学生より、人間関係学部人間福祉学科の2専攻（「人間福祉学専攻」「介護福祉学専攻」）を廃止し、各養成課程を選択可能な1学科体制とした。
- ③実際に教育研究を行っている内容を明確に表現するため、文学部「英文学科」を平成31年度入学生から「英語英文学科」へ名称変更する届出手続きを行った。
- ④保育士、幼稚園教諭養成についてのニーズを考慮し、平成31年度入学生より家政学部児童学科児童学専攻の定員を30名増の80名へと変更、またそれに伴い児童教育専攻及び他の学部学科の3年次編入学定員を削減する収容定員変更の届出手続きを行った。
- ⑤平成31年度教職課程再課程認定申請を行い、認定された。

2 全学及び学部等の教育カリキュラムの改善

- ①人間関係学部人間関係学科社会・臨床心理学専攻および大学院人間文化研究科臨床心理学専攻において、平成30年度入学生から、公認心理師国家試験の受験資格取得に必要な科目を追加した新カリキュラムを開始した。
- ②厚生労働省が定める職場適応援助者養成研修実施要項が平成30年7月に改定され、職場適応援助者（ジョブコーチ）養成研修の指定を高等教育機関でも受けることができるようになった。
人間関係学部人間福祉学科が同養成研修の申請をした結果、認められたことにより、平成31年度から養成を開始することとなった。（対象は平成30年度入学生から）
- ③大学では全学共通科目である「キャリアデザインⅠ」、「同Ⅱ」、「同Ⅲ」を通して1年次から体系的なキャリア教育を実施するとともに、短期大学部では未開講であった「キャリアデザインⅡ」を平成31年度より開講することを決定し、その拡充を図った。
- ④大学では外部の企業や組織とタイアップする全学共通科目である「キャリア・ディベロップメント・プログラム」を通じたより実践的なキャリア教育を実施するとともに、未開講であった短期大学部でも平成31年度より「キャリア・ディベロップメント・プログラム」を開講することを決定し、全学的な実践的なキャリア教育の拡充を図った。
- ⑤教学マネジメント体制の拡充に向けて、以下の施策を行った。
 - ・卒業時アンケートの実施（平成30年度卒業生から）
 - ・カリキュラムツリー（履修系統図）の作成（平成31年度カリキュラムから）
 - ・カリキュラムマップ（マトリクス型）及びシラバスチェック体制の見直し（平成31年度カリキュラムから）

3 組織的な学生支援・就職支援体制の強化及び学生サービスの改善

- ①既存の教務システム、出席管理システム、シラバスシステム、保証人用webシステムを統合・更新する形で、平成30年度より新事務システム（GAKUEN/UNIVERSAL PASSPORT）を導入し、学生支援体制の強化を図った。
- ②低学年から社会での活躍をイメージできるよう、インターンシップ受入先の継続や拡充、そしてマナーガイダンスやエントリーシート対策講座を実施することで、より多くの学生が、就業・職場体験の機会が持てるよう努めた。また、低学年向けのガイダンスでは、人事採用担当者を招き、就職活動に向けたマインドの醸成に努めた。
- ③全学生を対象に、卒業後のキャリアプランやライフスタイルの意識づけ、卒業生には一層の愛校心を植え付ける機会を目的に、OG懇談会を実施。また、卒業生から最新の企業情報を入手し、各ガイダンスやイベントにも還元した。

- ④他大学の支援プログラムや経済情勢を鑑み、スケジュールを柔軟に調整。万全な準備態勢で就職活動に臨めるよう、効果的・効率的な就職支援プログラムを実施した。
- ⑤従来からの窓口業務とハローワークとの連携に加えて、キャリアカウンセラーを配置することで、よりきめ細やかな支援を実施。また、学生相談室とも情報を共有することで、多様な学生からの相談に対応できる体制を整えた。
- ⑥就職未決定者に対して、ハローワークとも連携し、就職活動支援ガイダンスを実施。また、就職活動相談票を提出させることで、学生個人に合った最新の求人を窓口や多様なツールを活用し紹介した。
- ⑦新規企業の求人及び学校推薦の継続・復活を目的に、企業との情報交換会に参加、また個別に企業訪問することで求人の獲得に努めた。その結果、学内就職説明会の参加企業数増にも繋げることができた。
- ⑧正課外キャリア講座「大妻マネジメントアカデミー (OMA)」では、全34 講座、406 科目、両キャンパス合わせて614 回の授業を行った。卒業生をはじめとする社会人女性を対象とした聴講生を対象に、履修証明プログラムもスタートさせた。
- ⑨千代田キャンパスで 1 団体、多摩キャンパスで 1 団体が新設団体として活動を開始した。また、千代田・多摩両キャンパスで活動範囲を広げて活動したいとの願い出のあった 5 団体に許可を出し、活発な課外活動を推進した。
- 11 月には顕著な成績を取めた、または優れた活動を行った 5 団体を課外活動優秀団体として学長から表彰状と褒賞金を授与した。
- なお、リーダー育成を目的とするリーダーズ・キャンプを 9 月に実施し、課外活動団体の代表学生等 63 名が参加して外部講師による指導のもと、グループワーク等でリーダーに必要なスキルを学んだ。
- ⑩本学独自の奨学金である大妻女子大学育英奨学金に 22 名、学校法人大妻学院特別育英奨学金に 55 名を採用し、奨学金の給付を行い学業継続のための支援の実施と充実に努めた。また、本年度から有限会社石間企画事務所からの寄付金を資金として、学校法人大妻学院石間奨学金を新設し、1 名に対し年額 40 万円を支給した。
- ⑪加賀寮ではより充実した寮生活を送ることを目的として、同じ学部・学科の寮生を複数のグループに分け、先輩・後輩でコミュニケーションを取り、寮生活で困っていること、授業やサークル、定期試験の話など、様々な情報交換を行うクラスターミーティングを実施した。また、寮イベントとして「留学生と一緒に韓国料理を作ろう」を実施し韓国の留学生との異文化交流を図った。
- なお、久我山寮は平成 31 年 2 月 28 日をもって閉寮し、寮生活を継続して希望する学生 42 名を加賀寮へ転寮させた。

4 社会のグローバル化の進展に対する大妻女子大学らしい対応

- ① 1 人でも多くの学生が海外留学できるよう、学生や社会のニーズに合致した多様な海外研修・留学プログラムの開発と実施を行い、短期 10 プログラム 58 名、長期 3 プログラム 9 名、交換長期 2 プログラム 2 名、紹介 2 プログラム 54 名の合計 123 名（長期プログラムは主たる在籍年度が平成 30 年度のもの。学部実施プログラムを除く）を海外に派遣した。
- ②他の大学にはない大妻女子大学らしい海外研修・留学プログラムの新規開発として、新たに「Stirling 大学春期語学研修（イギリス）」、「Rennes 第 2 大学フランス夏期語学研修（フランス）」を開発し、学生を派遣した。また、催行には至らなかったが、「University College London (UCL) Summer School（イギリス）※大学院生対象」、「New York 大学春期語学研修（アメリカ）」、「Western Sydney 大学 英語+キャビンクルートレーニングプログラム（オーストラリア）」を新規開発し、学生募集を行った。なお、「New York 大学春期語学研修（アメリカ）」、「Western Sydney 大学 英語+キャビンクルートレーニングプログラム（オーストラリア）」は 2019 年度も募集を継続し、「University College London (UCL) Summer School（イギリス）※大学院生対象」は本学の学事歴等に合わないため、別途新プログラムの開発を模索する。

- ③「①、②の実現」のため、優れた教育プログラムを持ち、同時に日本人留学生の受入体制が整った海外協定校の開拓を行い、新たに「Portland 州立大学 Intensive English Language Program (アメリカ)」、「Global Engagement Office, University College London (イギリス)」、「Stirling 大学 (イギリス)」、「Rennes 第2 大学 (フランス)」の4校を協定校に加えた。
- ④海外研修・留学プログラムの事前事後研修を充実させるために7種の研修を実施し、延べ277名の参加を得た。また、海外での事件事故に対する危機管理体制の構築として、派遣留学生の最新の海外在籍状況やフライト情報、各種緊急連絡先などを網羅した「大妻海外在籍学生 留学スケジュール・危機管理情報」一覧表を作成している。この一覧表は危機対応時の基盤となるため、毎週最新の状態に更新される。
- ⑤海外研修・留学プログラムに参加できない学生に対する国内実施の代替研修として、「ニューヨーク大学プロフェッショナル教育東京短期英語集中（国内留学体験）プログラム」を新規開発、実施した。
- ⑥より多くの留学生（特別聴講学生）を受け入れるための教育プログラム（日本語・日本事情等）の充実として、平成30年度前期（後期は特別聴講学生の在籍なし）に日本語・日本事情科目9科目を開講し、7回の各種校外授業を行った。また、学部・短大・大学院留学生を含め、学生支援体制の強化として、入学オリエンテーション、各種情報提供、日常生活のサポート、在籍・在留資格管理などの学生サービスを行った。
- ⑦留学生と日本人学生の交流機会の充実として、「留学生交流会」、「交換留学生修了式」、「Oxford 大学からのインターン生との交流会」を行い、留学生、日本人学生、教職員合計114名の参加を得た。
- ⑧受入留学生に対する災害時の危機管理体制の構築について、受入留学生に対してオリエンテーション時に防災関係の情報の提供を行った。
- ⑨派遣・受入留学生に対する経済的援助の充実として、派遣留学生を対象とした「日本学生支援機構海外留学支援制度」に申請し、比較文化学部および国際センターの長期留学プログラムへの参加者5名分の奨学金が採択された。
また、受入留学生を対象とした学内の経済援助制度である「大妻女子大学私費外国人留学生奨学金」および「外国人留学生に係る学生納付金の減免」に各2名、外部奨学金として「ローソン外国人留学生奨学金」に1名が採択された。

5 学生募集広報と入試システムの改善

- ①Web 出願システム導入など近年の大学入試動向や、平成33年度入試（2020年度実施）からの大学入学者選抜改革を見据え、段階的に入試システムの改修を行った。なお、追跡調査資料（入試区分毎に入学後の学業成績等を一覧表集計した資料）は平成30年度から業務委託業者を変更した。
- ②魅力的な学生募集広報と更なる受験生の確保のため、「千代田キャンパス再開発プロジェクト」の完了に伴う千代田キャンパスの歴史・発展をめぐまれた環境とあわせ、更にアピールした。また、現在、人間関係学部のみとなっている多摩キャンパスの活性化に繋がるよう、人間関係学部の新しい学びについて効果的な情報発信を行った。また、例年実施している広報を精査・見直しし、一般入試向けの広報を増やすことにより、一般入試志願者増に繋がった。

6 教育設備及び学生生活環境の充実

- (1) 千代田校、多摩校ともに学生の教育設備の充実とキャンパスアメニティ向上のため以下の事業を行った。

- ①千代田 大学校舎電気室（A棟B1階）受電盤更新工事
- ②千代田 大学校舎B棟632・631・643・642・745・743調理実習室 ガス台改修工事
- ③千代田 大学校舎C棟370・373情報処理教室 機器更新
- ④千代田 図書館棟AV・情報メディアルーム 機器更新

- ⑤多摩 4号館情報処理自習室 機器更新
 - ⑥多摩 6号館3階 改修工事
 - ⑦千代田・多摩 平成30年度無線LAN導入
- (2) 千代田校ではC棟情報処理教室2教室の施設設備更新を実施した。また、学生の学習環境向上のため、図書館地下1階AV・情報メディアルームの機器更新を実施した。学生の利用ニーズに合わせて機器の内容、構成等を調整し、利便性を高めた。
- (3) 多摩校では情報処理自習室の施設設備更新を実施した。また、4号館3階および6号館3階に無線LANを導入し、各教室や学生ホール等から個人用PCやモバイル端末でのインターネット利用ができるよう学生の利便性を高めた。
- (4) 教育系ファイルサーバの一元管理という観点から全学対象の教育系ファイルサーバだけでなく社会情報学部ファイルサーバ構築を行うなど教育に関わるデータの保管・管理に関する利便性向上や円滑なデータ共有の支援を行った。

7 地域連携の推進と社会貢献事業の充実

(1) 地域連携推進センターの事業

- ①地域社会と連携し地域の活性化につながる活動、学生が参加することで主体性や自立心が身に付く活動の一層の推進と発展を図ることを目的に、地域連携プロジェクト活動の支援（約16件）
- ②広く地域の方々へ本学の教育と研究成果を還元し、多様なニーズに応えるとともに、地域社会の教育、学術、文化の発展に貢献する活動の推進を図ることを目的に、地域貢献活動の支援（約7件）
- ③「私立大学等改革総合支援事業」の観点を考慮し、地域連携推進センター自主企画の実施

(2) 大妻女子大学博物館の事業

- ①常設展：「大妻コタカと大妻教育」
- ②企画展：大妻学院110周年記念展示「コタカが生きた時代展」
- ③特別展：大妻女子大学日本文学関係貴重書展示「近現代編」
人間生活文化研究所と共同展示「東南アジア狩猟採集民の生活と子どもの発育発達」
- ④その他：千代田校舎地下1階アトリウム展示ケースにガラス瓶細工を展示
- ⑤講演会：「コタカが生きた時代「昭和」を漫画家・北見けんいちが語る」
- ⑥収蔵品の保存維持管理
- ⑦大妻コタカ・大妻良馬研究所における、大妻コタカ先生及び大妻良馬先生に関する調査

入試結果(平成 31 年度入試)

大学院

入試制度

博士後期課程：一般選抜

修士課程：学内選考、社会人特別選抜、一般選抜（Ⅰ期・Ⅱ期）、外国人留学生入学試験

平成 31 年 3 月 31 日現在

研究科名等			入学定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学 予定者数
人間文化研究科	人間生活科学専攻	博士後期課程	3	1	1	0	—
	言語文化学専攻		3	1	1	1	1
	人間生活科学専攻	修士課程	12	11	11	10	9
	言語文化学専攻		8	4	4	4	4
	現代社会研究専攻		6	2	2	1	1
	臨床心理学専攻		6	23	15	5	4
大学院合計			38	42	34	21	19

大学、短期大学部

入試制度：AO 入試（Ⅰ期・Ⅱ期）、公募推薦入試、同窓生子女推薦入試、指定校推薦入試、特別推薦入試、社会人入試、外国人留学生入試（Ⅰ期・Ⅱ期・指定校）、一般入試 A 方式（Ⅰ期・Ⅱ期）、一般入試 B 方式（Ⅰ期・Ⅱ期）

平成 31 年 3 月 31 日現在

学部名等			入学定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学 予定者数	
大学	家政学部	被服学科	110	416	397	150	114	
		食物学科	食物学専攻	80	478	456	138	83
			管理栄養士専攻	50	485	471	93	52
		児童学科	児童学専攻	80	518	504	120	81
			児童教育専攻	50	275	263	134	64
	ライフデザイン学科		120	530	510	193	129	
	文学部	日本文学科		120	1,060	1,047	233	120
		英語英文学科		120	646	626	214	131
		コミュニケーション文化学科		120	604	585	187	134
	社会情報学部	社会情報学科	社会生活情報学専攻	100	999	965	177	109
			環境情報学専攻	100	568	555	158	102
			情報デザイン専攻	100	725	706	159	98
	人間関係学部	人間関係学科	社会学専攻	75	534	512	118	93
			社会・臨床心理学専攻	75	482	471	168	90
人間福祉学科		100	466	458	184	100		
比較文化学部	比較文化学科		165	936	894	264	180	
大学合計			1,565	9,722	9,420	2,690	1,680	
短期大学部	家政科	家政専攻	90	217	209	196	101	
		生活総合ビジネス専攻	70	244	236	105	94	
		食物栄養専攻	110	188	184	166	91	
	国文科			40	159	156	108	58
	英文科			40	121	118	86	50
短大合計			350	929	903	661	394	
総計			1,915	10,651	10,323	3,351	2,074	

・文学部英文学科は平成 31 年 4 月より文学部英語英文学科に学科名称を変更。

大学(編入学試験)

入試制度：内部推薦選考、内部学力選考、一般選考、一般選考第2次

平成31年3月31日現在

学部名等		編入学定員	志願者数	受験者数	合格者数	入学 予定者数	
家政学部	被服学科	7	6	6	2	2	
	食物学科	食物学専攻	(3)	5	5	2	2
		管理栄養士専攻	(募集なし)	—	—	—	—
	児童学科	児童学専攻	(募集なし)	—	—	—	—
		児童教育専攻	5	4	4	3	2
ライフデザイン学科		7	14	14	7	7	
文学部	日本文学科	7	8	8	7	6	
	英文学科	7	17	17	10	9	
	コミュニケーション文化学科	7	10	10	9	7	
社会情報学部	社会情報学科	社会生活情報学専攻	5	20	19	4	2
		環境情報学専攻	5	5	5	4	4
		情報デザイン専攻	5	3	3	1	1
人間関係学部	人間関係学科	社会学専攻	10	0	—	—	—
		社会・臨床心理学専攻	10	2	2	1	0
	人間福祉学科	人間福祉学専攻	10	3	3	3	2
		介護福祉学専攻	(18)	1	1	0	—
比較文化学部	比較文化学科	5	10	9	2	1	
大学合計		111	108	106	55	45	

・上表「編入学定員」欄の()内：「編入学定員が設定されていない学科等の編入学に関する申し合わせ事項」4-(3)「各学科等の募集人員は、学生支援センターが発表する学生数表(5月1日付け)を基に入学定員と第2学年の学生数との差(欠員)とする。学生数が入学定員以上の場合は、当該学科等の編入学は実施しない」に基づいて、該当学科・専攻の募集人員を大学運営会議にて定めている。

大学(再入学試験)

平成31年3月31日現在

学部名等		志願者数	受験者数	合格者数	入学 予定者数
文学部	英文学科	1	1	1	1
比較文化学部	比較文化学科	1	1	1	1
合計		2	2	2	2

卒業生数、修了者数等

【大学】

学部・学科・専攻			平成30年度卒業生数
家政学部	被服学科		111
	食物学科	食物学専攻	94
		管理栄養士専攻	51
	児童学科	児童学専攻	49
		児童教育専攻	61
	ライフデザイン学科		120
合計		486	
文学部	日本文学科		122
	英文学科		114
	コミュニケーション文化学科		133
	合計		369
社会情報学部	社会情報学科	社会生活情報学専攻	114
		環境情報学専攻	64
		情報デザイン専攻	117
	合計		295
人間関係学部	人間関係学科	社会学専攻	94
		社会・臨床心理学専攻	93
	人間福祉学科	人間福祉学専攻	80
		介護福祉学専攻	20
	合計		287
比較文化学部	比較文化学科		167
	合計		167
大学計			1,604

※前期末卒業を含む

【短期大学部】

学科・専攻			平成30年度卒業生数
家政科	家政専攻		91
	生活総合ビジネス専攻		83
	食物栄養専攻		96
国文科			47
英文科			45
短期大学部計			362

※前期末卒業を含む

【大学院】

研究科・専攻・課程			平成30年度修了生数
人間文化研究科	人間生活科学専攻	修士課程	9
		博士後期課程	1
	言語文化学専攻	修士課程	7
		博士後期課程	0
	現代社会研究専攻	修士課程	1
	臨床心理学専攻	修士課程	7
大学院計			25

進路状況(就職率)

2018年度 就職状況一覧(2019年4月1日現在)

学部・学科・専攻	(A)	(B)	(C)	(D)	(E)	(F)		(G)	(H)		
	卒業生数	進学希望者数	進学確定者数	その他	$A - (B+C+D)$ 就職希望者数	就職者数(正規)	就職者数(非正規)	$(F/E) \times 100$ 就職率(%)	昨年度就職率(%)		
家政学部	被服学科	111	1	0	12	98	94	2	98.0	98.9	
	食物学専攻	食物学専攻	94	0	5	7	82	79	2	98.8	100.0
		管理栄養士専攻	51	0	0	0	51	46	3	96.1	98.1
		計	145	0	5	7	133	125	5	97.7	99.0
	児童学専攻	児童学専攻	49	0	1	5	43	43	0	100.0	98.0
		児童教育専攻	61	0	0	5	56	42	9	91.1	82.0
		計	110	0	1	10	99	85	9	94.9	89.2
	ライフデザイン学科	120	1	1	4	114	111	1	98.2	91.9	
計	486	2	7	33	444	415	17	97.3	94.3		
文学部	日本文学科	122	0	3	9	110	98	3	91.8	88.5	
	英文学科	114	0	0	6	108	95	6	93.5	93.6	
	コミュニケーション文化学科	133	0	0	5	128	118	2	93.8	95.2	
	計	369	0	3	20	346	311	11	93.1	92.6	
社会情報学部	社会生活情報学専攻	114	0	2	4	108	104	0	96.3	96.3	
	環境情報学専攻	64	0	3	2	59	56	1	96.6	96.9	
	情報デザイン専攻	117	0	0	7	110	104	0	94.5	99.0	
	計	295	0	5	13	277	264	1	95.7	97.4	
人間関係学部	社会学専攻	94	0	1	2	91	86	1	95.6	96.5	
	社会・臨床心理学専攻	93	0	10	8	75	72	0	96.0	98.4	
	計	187	0	11	10	166	158	1	95.8	97.3	
	人間福祉学専攻	80	1	1	1	77	76	0	98.7	94.8	
	介護福祉学専攻	20	0	1	0	19	17	0	89.5	95.7	
	計	100	1	2	1	96	93	0	96.9	95.0	
計	287	1	13	11	262	251	1	96.2	96.4		
比文	比較文化学科	167	0	1	14	152	143	5	97.4	92.6	
合計	1,604	3	29	91	1,481	1,384	35	95.8	94.7		

卒業生数 : A 2018年度卒業生数(前期末卒業含む)
 その他 : D、アルバイト・家事手伝い等
 就職者数 : 就職(正規) 正規の職員・従業員、自営業主等
 就職(非正規) 雇用契約が1年以上かつフルタイム勤務相当(1週間の所定の労働時間が30~40時間)の者
 昨年度就職率 : 2018年4月1日現在の就職率

学部・学科・専攻		(A)	(B)	(C)	(D)	(E)	(F)		(G)	(H)	
		卒業生数	進学希望者数	進学確定者数	その他	就職希望者数	就職者数(正規)	就職者数(非正規)	就職率(%)	昨年度就職率(%)	
短期大学部	家政科	家政専攻	91	1	9	8	73	70	0	95.9	92.5
		生活総合ビジネス専攻	83	0	6	3	74	71	1	97.3	97.6
		食物栄養専攻	96	0	8	6	82	76	3	96.3	94.3
		計	270	1	23	17	229	217	4	96.5	94.7
	国文科	47	0	4	4	39	29	2	79.5	73.5	
	英文科	45	3	4	5	33	32	0	97.0	90.0	
合計		362	4	31	26	301	278	6	94.4	92.1	

卒業生数 : A 2018年度卒業生数(前期末卒業含む)
 その他 : D アルバイト・家事手伝い等
 就職者数 : 就職(正規) 正規の職員・従業員、自営業主等
 : 就職(非正規) 雇用契約が1年以上かつフルタイム勤務相当(1週間の所定の労働時間が30～40時間)の者
 昨年度就職率 : 2018年4月1日現在の就職率

研究科・課程・専攻			(A)	(B)	(C)	(D)	(E)	(F)		(G)	(H)	
			修了生数	進学希望者数	進学確定者数	その他	就職希望者数	就職者数(正規)	就職者数(非正規)	就職率(%)	昨年度就職率(%)	
大学院	博士課程	人間生活科学専攻	1	0	0	0	1	1	0	100.0	0.0	
		言語文化学専攻	0	0	0	0	0	0	0	—	—	
		計	1	0	0	0	1	1	0	100.0	0.0	
	修士課程	人間文化研究科	人間生活科学専攻	9	0	0	3	6	5	0	83.3	62.5
			言語文化学専攻	7	1	0	2	4	2	1	75.0	0.0
			現代社会研究専攻	1	0	0	1	0	0	0	—	100.0
			臨床心理学専攻	7	0	1	1	5	0	2	40.0	25.0
			計	24	1	1	7	15	7	3	66.7	50.0
	合計			25	1	1	7	16	8	3	68.8	47.1

修了生数 : A 2018年度修了生数(前期末卒業含む)
 その他 : D アルバイト・家事手伝い等
 就職者数 : 就職(正規) 正規の職員・従業員、自営業主等
 : 就職(非正規) 雇用契約が1年以上かつフルタイム勤務相当(1週間の所定の労働時間が30～40時間)の者
 昨年度就職率 : 2018年4月1日現在の就職率

奨学金等

①日本学生支援機構奨学金（貸与）奨学生数

学部名等	第一種		第二種		学部名等	第一種		第二種		
	貸与者数					貸与者数				
	内新規採用者数	内新規緊急・応急採用者数	内新規採用者数	内新規緊急・応急採用者数		内新規採用者数	内新規緊急・応急採用者数	内新規採用者数	内新規緊急・応急採用者数	
家政学部	被服学科	43	0	88	家政科	家政専攻	24	0	53	
	食物学科	12	0	20		0	生活総合ビジネス専攻	11	0	32
	児童学科	67	0	91		0	食物栄養専攻	27	0	29
	ライフデザイン学科	28	0	27		0	計	18	0	14
	計	36	0	63		0	計	27	0	49
	計	8	0	17		0	計	17	0	28
文学部	日本文学科	36	0	70	大学院	国文科	78	0	131	
	英文学科	12	0	25		0	国文科	8	0	18
	コミュニケーション文化学科	182	0	312		0	英文科	5	0	6
	計	60	0	89		0	英文科	19	0	24
	計	56	0	94		0	短大合計	10	0	13
	計	18	0	23		0	短大合計	61	0	93
社会情報学部	日本文学科	51	0	93	大学院	人間文化研究科	105	0	173	
	英文学科	18	0	23		0	博士後期課程	0	0	0
	コミュニケーション文化学科	47	0	110		0	修士課程	0	0	0
	計	17	0	30		0	大学院合計	7	0	2
	計	154	0	297		0	総計	3	0	1
	計	53	0	71		0	総計	743	0	1394
人間関係学部	社会情報学科	122	0	264	大学	〈参考〉	第一種	第二種		
	人間関係学科	44	0	61		1	2017年度	667	1471	
	人間福祉学科	60	0	135		0	2016年度	652	1553	
	計	20	0	52		0	大学合計	209	344	2
	計	38	0	75		0				
	計	9	0	29		0				
比較文化学部	比較文化学科	29	0	81	0					
	比較文化学科	77	0	136	1					
	比較文化学科	23	0	42	1					
大学合計	631	0	1219	2	※第一種・第二種奨学金は、併用可能。					

②日本学生支援機構奨学金奨学生数（給付）

学部名等	内新規採用者数	給付者数	学部名等	内新規採用者数	給付者数	給付月額	
							家政学部
	食物学科	4		生活総合ビジネス専攻	2		
	児童学科	0		食物栄養専攻	0		
	ライフデザイン学科	0		計	2		
	計	5		国文科	1		
文学部	日本文学科	2		英文科	3		
	英文学科	2		短大合計	2		
	コミュニケーション文化学科	3		短大合計	6		
	計	3		短大合計	7		
	計	8		総計	30		
	計	7		〈参考〉			
社会情報学部	社会情報学科	5		2017年度	2		
人間関係学部	人間関係学科	3	※通学区分により月額が異なり、貸与奨学金との併用可能。				
	人間福祉学科	3					
	計	1					
比較文化学部	比較文化学科	1					
	比較文化学科	2					
大学合計	24						
	23						

③大妻女子大学大学院奨学金奨学生数（貸与）

研究科名等			貸与者数			貸与月額	
			内新規採用者数				
			2018年度※	2017年度	2016年度		
人間文化研究科	人間生活科学専攻	博士後期課程				65,000円	
		修士課程				55,000円	
	言語文化学専攻	博士後期課程				65,000円	
		修士課程		1	1	55,000円	
				0	1		
	現代社会研究専攻	修士課程				55,000円	
臨床心理学専攻	修士課程				55,000円		

※2018年度は申請者なし。

④大妻女子大学育英奨学金・学校法人大妻学院特別育英奨学金奨学生数(給与)

学部名等			大妻女子大学 育英奨学金			学校法人大妻学院 特別育英奨学金			給与月額	
			2018年度	2017年度	2016年度	2018年度	2017年度	2016年度		
大学院	人間文化研究科	人間生活科学専攻			1				20,000円～ 50,000円※	
		言語文化学専攻								
		人間生活科学専攻	1	3	2					
		言語文化学専攻	1	3	2	1				
		現代社会研究専攻								
		臨床心理学専攻	3	3	3					
大学院合計			5	9	8	1	0	0		
大学	家政学部	被服学科		1	3	4	4	1	20,000円	
		食物学科	食物学専攻	2	2	2	1	3		2
			管理栄養士専攻	2	1	1	1	5		8
		児童学科	児童学専攻		1	1	1			1
			児童教育専攻			1		3		1
	ライフデザイン学科						2	3		3
	文学部	日本文学科				1	5	3		2
		英文学科			1		4	1		2
		コミュニケーション文化学科		2	2	2	3	2		1
	社会情報学部	社会情報学科	社会生活情報学専攻		2		4	2		2
			環境情報学専攻	2	1		2	2		2
			情報デザイン専攻	2		2	5	4		1
	人間関係学部	人間関係学科	社会学専攻	5	3	2	4	3		1
			社会・臨床心理学専攻	1	3	1	1			2
人間福祉学科			—	—		—	—			
人間福祉学科		人間福祉学専攻				3	3	2		
	介護福祉学専攻	1			1	1				
比較文化学部	比較文化学科			2	1	9	10	6		
大学合計			17	19	17	50	49	37		
短大	家政科	家政専攻						3		
		生活総合ビジネス専攻				2	3	1		
		食物栄養専攻				2	1	2		
	国文科						2	2		
英文科										
短大合計			0	0	0	4	6	8		
総計			22	28	25	55	55	45		

※大妻女子大学育英奨学金の大学院生は、課程および通学区分により月額が異なる。

⑤一般財団法人大妻コタカ記念会育英奨学金・株式会社大妻フーズ育英奨学金奨学生数(給与)

学部名等				一般財団法人大妻コタカ 記念会育英奨学金			株式会社大妻フーズ 育英奨学金			給与月額	
				2018年度	2017年度	2016年度	2018年度*	2017年度*	2016年度		
大学院	人間文化研究科	人間生活科学専攻	博士後期課程							20,000円	
		言語文化専攻									
		人間生活科学専攻	修士課程					1			
		言語文化専攻									
		現代社会研究専攻									
		臨床心理学専攻									
	大学院合計				0	0	0				1
大学	家政学部	被服学科		1		1				20,000円	
		食物学科	食物学専攻	1							
			管理栄養士専攻						1		
		児童学科	児童学専攻								
			児童教育専攻	1							
	ライフデザイン学科					1	1				
	文学部	日本文学科			2	1					
		英文学科			1	2					
		コミュニケーション文化学科									
	社会情報学部	社会情報学科	社会生活情報学専攻								
			環境情報学専攻								
			情報デザイン専攻			1					
	人間関係学部	人間関係学科	社会学専攻	1	1	1					
			社会・臨床心理学専攻	2	1	1					
		人間福祉学科				-					-
		人間福祉学科	人間福祉学専攻								
介護福祉学専攻					1						
比較文化学部	比較文化学科		1	1	5						
大学合計				10	8	10			1		
短大	家政科	家政専攻			1						
		生活総合ビジネス専攻									
		食物栄養専攻				1					
	国文科										
英文科											
短大合計				0	2	0			0		
総計				10	10	10			2		

※2017、2018年度株式会社大妻フーズ育英奨学金の募集なし。

⑥学校法人大妻学院石間奨学金奨学生数(給与)

学部	学科	専攻	人数	給与年額
人間関係学部	人間関係学科	社会・臨床心理学専攻	1	400,000円

※2018年度より募集開始。

キャリア教育

大妻マネジメントアカデミー(OMA)

1. 全34 講座、406 科目、両キャンパス合わせて614 回の授業を行った。
2. 学生の就職先拡大を目的としてプログラムを改編し、「リテラシー&リメディアルプログラム」「多摩キャリアプログラム」「営業人材養成プログラム」「観光人材養成プログラム」「選抜強化プログラム」に再編し、学生がニーズ、レベルに合わせた受講が可能となった。
3. 多摩キャンパスの活性化のために、独自プログラムの新設並びに開講数を大幅に増加させた。
4. スマートフォンをベースとしたe ラーニングの新コンテンツの追加、ホームページのセキュリティの強化を実施し、IT 化する学生に対応した教育プログラムを提供した。
5. 卒業生をはじめとする社会人女性を対象とした、履修証明プログラムをスタートさせた。

国際交流

①2018 年度 派遣・受入留学プログラム一覧 短期研修（派遣）

No.	プログラム名	期間	所属別参加者数						合計
			家	文	社	人	比	短	
1	California州立大学Chico校 ALCI (アメリカ)	2019年2月4日～ 2019年3月1日	0	1	0	0	2	0	3
2	British Columbia大学ELI (カナダ)	2018年8月5日～ 2018年8月26日	1	3	1	2	5	0	12
3	Deakin 大学 ELI (オーストラリア)	2018年8月14日～ 2018年9月8日	1	3	0	0	0	0	4
4	Monash 大学 ELC (オーストラリア)	2019年2月5日～ 2019年3月17日	0	2	0	0	0	1	3
5	国立台湾師範大学 国語教学センター (台湾)	2019年3月3日～ 2019年3月23日	0	1	0	0	4	0	5
6	梨花女子大学校言語教育院 (韓国)	2019年3月4日～ 2019年3月23日	3	2	1	0	5	0	11
7	Oxford大学Hertford カレッジ (イギリス)	2018年8月12日～ 2018年9月2日	0	3	3	2	5	2	15
8	Stirling大学ELP (イギリス)	2019年2月9日～ 2019年3月24日	0	2	0	0	0	0	2
9	Freiburg大学SLI (ドイツ)	2018年8月4日～ 2018年8月30日	0	0	0	0	1	0	1
10	Rennes第2大学CIREFE (フランス)	2018年8月4日～ 2018年9月2日	1	0	0	0	1	0	2
合計			6	17	5	4	23	3	58

《催行されなかったプログラム》

〈夏期〉Utah 大学 ELI (アメリカ) →最少催行人数 10 名に達しなかったため (申込者 2 名)

〈夏期〉University College London (UCL) Summer School (イギリス) →申込者 0 名

〈夏期〉北京師範大学漢語文化学院 (中国) →実施せず

〈春期〉Saint Joseph 大学 (アメリカ) →実施せず

〈春期〉New York 大学 ALI (アメリカ) →最少催行人数 12 名に達しなかったため (申込者 2 名)

〈春期〉Western Sydney 大学 英語+キャビンクルートレーニングプログラム (オーストラリア)

→最少催行人数 17 名（他大学を含め）に達しなかったため（他大学を含めた申込者 9 名、うち本学申込者 3 名）
 〈春期〉北京師範大学漢語文化学院（中国）→実施せず

長期研修（派遣）

No.	プログラム名	期間	所属別参加者数						合計
			家	文	社	人	比	短	
1	Murray州立大学（アメリカ）	2018.8～2018.12	0	1	0	0	0	0	1
2	Deakin 大学（オーストラリア）	2018.2～2018.12	0	3	0	0	0	0	3
3	California大学Riverside校 （アメリカ）	2018.3～2018.9	0	3	0	0	0	0	3
		2018.3～2018.12	0	2	0	0	0	0	2
合計			0	9	0	0	0	0	9

《催行されなかったプログラム》

Douglas カレッジ（カナダ）、北京師範大学（中国）、大連外国語大学（中国）→派遣なし

交換留学（派遣）

No.	プログラム名	期間	所属別参加者数						合計
			家	文	社	人	比	短	
1	国民大学校（韓国）	2018.8～2018.12	0	1	0	0	0	0	1
2	明知大学校（韓国）	2018.8～2018.12	0	0	0	0	1	0	1
合計			0	1	0	0	1	0	2

紹介プログラム（JSAF 主催 ACEJ 短期語学研修）

プログラム名		所属別参加者数						合計
		家	文	社	人	比	短	
ワシントン大学（アメリカ）	夏期	0	3	0	1	0	0	4
	春期	0	1	0	0	3	0	4
シアトルパシフィック大学（アメリカ）	夏期	0	2	0	0	0	0	2
カリフォルニア大学サンディエゴ（アメリカ）	春期	0	9	0	0	0	0	9
ハワイ大学マノア（アメリカ）	春期	0	1	0	0	0	0	1
ブリティッシュコロンビア大学（カナダ）	春期	0	1	0	0	0	0	1
トロント大学（カナダ）	夏期	0	1	0	0	1	0	2
	春期	0	6	0	0	0	0	6
ニューサウスウェールズ大学（オーストラリア）	春期	0	0	1	0	0	0	1
西オーストラリア大学（オーストラリア）	春期	1	0	0	0	0	0	1
クィーンズランド大学（オーストラリア）	春期	0	0	0	0	1	0	1
オークランド大学（ニュージーランド）	夏期	0	0	1	0	2	0	3
グリフィスカレッジ（アイルランド）	夏期	0	1	0	0	2	0	3
	春期	0	1	1	1	1	0	4
ロンドン芸術大学（イギリス）	春期	0	0	0	0	1	0	1
合計	夏期	0	7	1	1	5	0	14
	春期	1	19	2	1	6	0	29

紹介プログラム (CIEE 主催 海外ボランティア)

国・地域	プログラム種別	所属別参加者数						合計	
		家	文	社	人	比	短		
オーストラリア	シドニー・チャイルドケア	夏期	0	0	0	2	0	0	2
		春期	0	2	0	0	1	0	3
ニュージーランド	オークランド・チャイルドケア	夏期	1	0	0	0	0	0	1
		春期	1	0	0	0	0	0	1
カナダ	バンクーバー・アニマルケア (動物 NPO 支援)	夏期	0	0	1	0	0	0	1
カナダ	ビクトリア・アニマルケア (動物 NPO 支援)	春期	0	0	0	0	1	0	1
カナダ	ビクトリア・地域サポート	夏期	1	0	0	0	0	0	1
		春期	0	0	0	0	0	0	0
アメリカ	ユタ・教師アシスタント	夏期	0	0	0	0	0	0	0
		春期	1	0	0	0	0	0	1
合計		夏期	2	0	1	2	0	0	5
		春期	2	2	0	0	2	0	6

②協定校一覧 (10 カ国・地域 26 校) 2019.3.31 現在

No	国・地域	No	締結校	署名者	本学 締結 部門	本学 署名者	最新締結 年月日	協定形態
1	Australia (オーストラ リア)	1	Monash 大学 Monash カレッジ	Chief Executive Officer	大学	国際セ ンター 所長	2019 年 3 月 25 日	General Agreement
		2	Deakin 大学	Pro Vice Chancellor	大学	学長	2014 年 6 月 1 日	MOU
2	Canada (カナダ)	3	Douglas カレッジ	Vice President	大学	学長	2015 年 4 月 1 日	MOA Academic Collaboration
3	China (中国)	4	北京師範大学 政治学与国際関 係学院	政治学与国 際関係学院 院長	大学 院	学長	2010 年 2 月 11 日	交流協定書
			北京師範大学 国際交流与合作 処	国際交流与 合作処長	大学	国際セ ンター 所長	2016 年 10 月 25 日	
		5	大連外国語大学 漢学院	漢学院長	大学	国際セ ンター 所長	2016 年 11 月 28 日	交流協定書
		6	南開大学 漢語言文化学院	漢語言文化 学院院长	大学	国際セ ンター 所長	2013 年 7 月 10 日	学術交流協定 書

		7	雲南大学	校長	大学	学長	2014年 5月30日	交流協定書
4	France (フランス)	8	Rennes 第2 大学	President	大学	学長	2018年 6月18日	Agreement on Study Abroad Programme
5	Germany (ドイツ)	9	Freiburg 大学 Language Teaching Centre (SLI) of the Faculty of Philology	The Dean, Faculty of Philology	大学	学長	2016年 11月22日	MOU for the "Summer and Winter University"
		10	Münster 大学 Language Centre	Head of Language Centre	比較 文化 学部	学長	2016年 10月28日	MOU for the "International Language and Semester Programme"
6	Korea (韓国)	11	梨花女子大学校	President	大学	学長	2017年 11月20日	Agreement on Academic Co-operation
		12	国民大学校	学長	大学	学長	2013年 12月5日	General Agreement for Cooperation
		13	明知大学校	総長	大学	学長	2015年 2月9日	学術交流協定 書
7	Spain (スペイン)	14	San Jorge 大学	Vice Chancellor	大学	学長	2017年12 月20日	Agreement for Academic Cooperation
8	Taiwan (台湾)	15	国立台湾師範大 学 国語教学センタ ー	国語教学セ ンター長	比較 文化 学部	学長	2015年 2月2日	交流協定書
					国際 セン ター	国際セ ンター 所長	2015年 4月1日	短期語学研修 覚書
		16	国立台北教育大 学	校長	大学	学長	2018年 2月20日	合意書
		17	国立台湾大学 文学院語文セン ター	主任	大学	学長	2017年 5月1日	中国語研修計 画 協定書

9	United Kingdom (イギリス)	18	Oxford 大学 Hertford カレッジ	Principal	大学	学長	2015 年 11 月 24 日	Agreement on Study Abroad Programme
					比較 文化 学部			
					短大			
		19	Global Engagement Office, University College London	Director	大学	学長	2018 年 5 月 10 日	Agreement on UCL Summer School
		20	Stirling 大学	President	大学	学長	2018 年 11 月 7 日	MOU
10	United States of America (アメリカ 合衆国)	21	Saint Joseph 大学	President	大学	学長	2013 年 2 月 22 日	Agreement on Academic Exchange
		22	Murray 州立大学	President	大学	学長	2013 年 4 月 2 日	Partnership Agreement
		23	California 大学 Riverside 校 International Education Programs	Associate Dean	大学	学長	2019 年 1 月 4 日	Agreement of Cooperation
		24	Utah 大学 The English Language Institute	Director	大学	学長	2015 年 12 月 11 日	MOU
		25	California 州立大 学 Chico 校	President	大学	学長	2017 年 1 月 5 日	MOU
		26	Portland 州立大学 Intensive English Language Program	Executive Director	大学	学長	2018 年 11 月 16 日	MOU

③海外研修・留学プログラムの事前事後研修

No.	研修名	実施日/実施期間	回数	参加総数
1	学内留学体験講座（英語）	2018. 10～2019. 1	16	47
2	異文化理解講座	2018. 10～2019. 1	21	50
3	映画から学ぶ世界	2018. 9～2018. 12	9	12
4	国際協力・開発講座	2018. 10～2019. 1	15	41

5	中国語圏言語文化講座	2018. 12. 19	1	4
6	韓国言語文化講座	2018. 12. 15	1	15
7	危機管理オリエンテーション/女性のための危機管理オリエンテーション	2018. 7. 21 / 2019. 1. 12	2	108

④海外研修・留学プログラムに参加できない学生に対する代替研修

ニューヨーク大学プロフェッショナル教育東京短期英語集中（国内留学体験）プログラム

No.	プログラム名	期間	所属別参加者数						合計
			家	文	社	人	比	短	
1	ニューヨーク大学プロフェッショナル教育東京（NYU SPS 東京）	2019年2月4日～ 2019年2月15日	1	5	1	1	0	7	15

⑤留学生（特別聴講学生）を受け入れるための教育プログラム（日本語・日本事情等）

交換・招致留学（特別聴講学生受入）

No.	派遣元大学名	期間	受入数
			国際センター
1	国民大学校（韓国・交換）	2018. 4～2018. 9	1
2	明知大学校（韓国・交換）	2018. 4～2018. 9	2
	合計		3

日本語・日本事情授業科目

	前期		後期	
	科目名	2018 担当者	科目名	2018 担当者
中級	日本語中級 1(総合)	伊藤	日本語中級 2(総合)	—
	日本語中級 1(読解)	伊藤	日本語中級 2(読解)	—
	日本語中級 1(聴解)	伊藤	日本語中級 2(聴解)	—
	日本語中級 1(文章表現)	森田(外部講師)	日本語中級 2(文章表現)	—
	日本語中級 1(口頭表現)	森田(外部講師)	日本語中級 2(口頭表現)	—
	日本語中級 1(能力試験対策)	伊藤	日本語中級 2(能力試験対策)	—
日本事情・ 他	東アジアの歴史	趙	日本国家概況	—
	日本の漫画とその文化	森	映画から見る日本文化	—
	日本の家政学	趙	日本語と日本の文化	—
			日本の文学（近・現代）	—

校外授業

No.	研修名	実施日	場所	参加者数
1	茶摘み・製茶体験	2018. 5. 9	人間市博物館	3
2	Discover KABUKI	2018. 6. 15	国立劇場	5
3	日本文化体験	2018. 6. 25	趙准教授宅	3
4	日本語能力試験合格祈願	2018. 6. 29	湯島天神	3
5	日本の農林水産業と食べもの	2018. 7. 13	農林水産省	4

6	国会議事堂見学	2018. 7. 18	国会議事堂	3
7	日本酒醸造文化と品質管理	2018. 7. 20	小澤酒造株式会社	3

⑥留学生と日本人学生の交流

No.	イベント名	実施日	場所	参加者数
1	留学生交流会	2018. 5. 18	コタカフェ	78
2	交換留学生修了式	2018. 7. 27	G311A	20
3	Oxford 大学からのインターン生との交流会	2018. 9. 27	G311A	16

⑦派遣・受入留学生に対する経済的援助

日本学生支援機構海外留学支援制度（派遣留学生）

No.	支給対象プログラム名	対象	採択者数
1	現地のことばで日本文化を発信する ～自文化／異文化理解のための派遣プログラム～留学生交流会	比較文化学部	7
2	キャリアデザインを確立させる留学体験プログラム	全学（国際センター）	5

正規留学生学費減免・奨学金（受入留学生）

No.	支給対象プログラム名	対象	採択者数
1	大妻女子大学私費外国人留学生奨学金	学部生	2
2	大学に入学する外国人留学生に係る学生納付金の減免	学部生	2

外部団体奨学金（受入留学生）

No.	支給対象プログラム名	対象	採択者数
1	ローソン外国人留学生奨学金	ベトナム人学部生	1

研究活動の推進

1 国内研修・国外研修・サバティカル

<国内研修>

氏名	所属・職名	研修期間	研修地	研修課題
松田 春香	文学部 准教授	H30.4.1～H31.3.31	東京大学大学院 総合文化研究科	冷戦期 韓国の対東アジア 「同盟」外交－対台湾・南 ベトナム外交を中心に－

<国外研修>

氏名	所属・職名	研修期間	研修地	研修課題
江頭 浩樹	比較文化学部 准教授	H30.4.1～H31.3.31	メリーランド州 立大学（アメリカ）	人間言語（特に英語）の統 語構造と統語演算の解明 カ）

<サバティカル>

なし

2 人間生活文化研究所研究助成

①研究員研究助成採択課題

5件を採択、助成総額は710千円。

課題番号	研究課題
R3001	就業状況とつわりが妊娠中の食生活と出生アウトカムに与える影響
R3002	食物繊維に富む沖縄県産食物の探索と成分解析ならびに機能性
R3003	生涯設計のための女子教育に関する研究
R3004	子どもの菜食は発育にどのように影響するか
R3005	現代日本の子育て支援政策と母親たちのニーズ

②共同研究プロジェクト採択課題

要望課題7件を採択、助成総額は2,582千円。

それ以外の課題18件を採択、助成総額は5,935千円。全体的な助成総額は8,517千円。

○要望課題「110周年記念課題」

課題番号	研究課題	所属
K3001	日本国外における大妻学院のブランディング －『ごもくめし』の広報ツールとしての可能性－	国際センター
K3002	機能美に特化した身障者と健常者が「共有できる服」の開発研究Ⅲ	家政学部
K3003	大妻女子大学博物館を活用した大学教育	文学部
K3004	大妻女子大学博物館の施設と所蔵資料を活用した大学教育の可能性に 関する基礎的研究	博物館
K3005	大妻精神の継承と具現 －聞き取り調査を通じ大妻の教え・学びを探る 3－	博物館 大妻コタカ・大妻良馬研 究所
K3006	「大妻らしさ」と快適な学生生活に対する学生意識の調査	家政学部
K3007	「大妻精神」をこれからの100年に伝えるための「言葉の玉手箱」 としての「大妻かるた」の選定および作成	短期大学部

○一般課題

課題番号	研究課題	所属
K3008	咀嚼嚥下困難高齢者の食事と腸内細菌叢の関係に関する研究	家政学部

K3009	本学における和服教育の歴史と解明	家政学部
K3010	野外活動を企画できる小学校教員養成のための試行プログラムの開発 ー厳冬期の自然体験活動を中心においてー	家政学部
K3011	卒業後のキャリア形成に及ぼす要因の検討	家政学部
K3012	青年女性における慢性疲労の経時的变化の評価	家政学部
K3013	間接熱量計を用いた食事負荷試験測定法の開発	家政学部
K3014	ことばの二面性についての研究ー声と文字に関する基本的考察ー	社会情報学部
K3015	大学ブランドイメージ調査を基にしたリ・ブランディングデザイン	家政学部
K3016	中・高・大を連携した「思考力、判断力、表現力」育成のための英語教育の研究	英語教育研究所
K3017	古代布の調査・研究 連繊維の紡績・染織技術の歴史と産業応用の可能性への研究	キャリア教育センター
K3018	中学校理科における「海の生きもの」を活用した教材開発の試み	社会情報学部
K3019	消費者の食品添加物の安全性に対する意識及びその変遷	家政学部
K3020	女子大学生が快適に過ごせるキャンパスデザインの研究 (3)	家政学部
K3021	プログラミングの学習が神経可塑的变化に与える基礎的研究	社会情報学部
K3022	日本の大学における教育カリキュラムの体系化 (2) ー心理学分野に着目してー	人間関係学部
K3023	復旦大学社会発展与公共政策学院とのリレーションシップ強化に関する総合的研究	文学部
K3024	介護臭の分析とニオイの感性的評価 II	家政学部
K3025	大学退学についての基礎的研究	家政学部

③戦略的個人研究費採択課題

学長要望課題 5 件を採択、助成総額は 3,816 千円。

それ以外の課題 35 件を採択、助成総額は 26,439 千円。

○学長要望課題「大学教育の改善に関する研究」

課題番号	研究課題	所属
S3001	e ラーニングによるリテラシー教育の実践とブランドアクティベーションに関する研究	キャリア教育センター
S3002	大妻コタカ著作集を中心としたデジタルアーカイブと教育への活用	家政学部
S3003	画像認識・AIによるマルチエージェント(ロボット)型講義支援システムに関する研究	社会情報学部
S3004	大学教職課程におけるリフレクション・システムの導入とカリキュラム研究	家政学部
S3005	ICTタグによる図書館内利用者行動情報収集に関する基礎実験	教職総合支援センター

○学長要望以外の課題

課題番号	研究課題	所属
S3006	Disaster Reporting のリスクマネジメントに関する研究	文学部
S3007	科学の創造性を理解する小学校理科カリキュラムの開発研究	家政学部
S3008	カリブ海における白人性の構築：ジャマイカとトリニダードの比較研究	国際センター
S3009	初動負荷理論を用いたトレーニングの導入	人間関係学部
S3010	ルイ 14 世のイメージ製作ー芸術と政治の関連性の検証ー	文学部
S3011	国際協力における効果的なジョブコーチ研修の開発	人間関係学部
S3012	心停止の発生場所情報を含む網羅的院外心停止データベースの構築と分析に関する研究	家政学部

S3013	音楽メディアの変遷が聴取に与えた影響に関する研究	社会情報学部
S3014	緑地保全活動の生理的な効用	家政学部
S3015	女性アスリートの利用可能エネルギー不足アセスメントツールの開発と妥当性の検証	家政学部
S3016	温帯島嶼における河川魚類多様性の理解と保全のための大規模環境DNA観測	家政学部
S3017	青年期タイ人・日本人の体格による生活習慣の違いについて	家政学部
S3018	若年女性における隠れ肥満・痩せとエネルギー代謝関連因子およびサーカディアンリズムとの関係	家政学部
S3019	沖縄の染織品に関する調査研究—アジアの絣織物とのかかわりを中心に—	家政学部
S3020	コミュニティ再編に伴うコミュニティ・スクールの役割変容	社会情報学部
S3021	スタンフォード大学東アジア図書館蔵「集古画本〔読本挿絵集〕」の書誌学的研究	文学部
S3022	健常若年女性における食後高血糖のメカニズムおよびその原因の究明	家政学部
S3023	思想と芸術の接点：スタール夫人の『コリンナ』	比較文化学部
S3024	ボーイスカウトの教育効果に関する研究3	人間関係学部
S3025	貝紫の染色機構に関する研究—古代の天然染料を現代科学で探求する—	家政学部
S3026	留学生向け日本事情教材の研究及び作成	国際センター
S3027	心理療法における肯定的介入の効果検証のための実験研究	人間関係学部
S3028	介護福祉現場におけるケア・ハラスメントの実態	人間関係学部
S3029	「海育（うみいく）」の取り組み：小学校における食と連携した新たな海洋教育の提案	社会情報学部
S3030	成人期以降の友人関係の機能と適応との関連	人間関係学部
S3031	学校建築についての社会学的研究	人間関係学部
S3032	AI および IoT の社会的哲学的研究——社会情報学基礎論の新展開	社会情報学部
S3033	近代日本における書画文墨趣味ネットワークの形成	文学部
S3034	マキューアンのダンケルクの描写における事実と虚構	短期大学部
S3035	理想的観賞者説の拡張をつうじた日常的美的経験論の構築	国際センター
S3036	職場におけるイヌ（セラピー犬）介在の社会的・心理的效果の検証	人間関係学部
S3037	企業—ステイクホルダー関係における媒介者の機能と正当性に関する研究	社会情報学部
S3038	摂食障害予防のための基礎的研究1	人間関係学部
S3039	オムニチャンネル環境下における消費者の購買行動とファッションマーケティングの研究	家政学部
S3040	「日本語の表現と韓国人の理解度——その差異から日本人の思考様式を探る基礎的研究」	キャリア教育センター

④平成30年度 大学院生研究助成(A) 採択課題

対象者：博士後期課程在籍者

5件を採択、助成総額は700千円

課題番号	研究課題	所属
DA3001	古今和歌集注釈書における竹取説話	言語文化学専攻
DA3002	歯科と管理栄養士との協働効果に関する研究	人間生活科学専攻
DA3003	保育園における園児の判断による食事摂取量と家庭の食事量との関連	人間生活科学専攻
DA3004	病院管理栄養士の栄養相談スキル評価方法（評価表）確立の検討	人間生活科学専攻
DA3005	平安時代貴族女性の正装 ——裳唐衣装束の着用について——	言語文化学専攻

⑤平成30年度 大学院生研究助成(B) 採択課題

対象者：修士課程在籍者

36件を採択、助成総額は3,017千円

課題番号	研究課題	所属
DB3001	リーディング・ストラテジーの活性化と長文読解におけるその効果	言語文化学専攻
DB3002	平安文学における尼生活	言語文化学専攻
DB3003	セルフ・コンパッションが自己嫌悪感場面における自己形成に及ぼす影響	臨床心理学専攻
DB3004	幼児の造形における道具を使う技術の習得プロセスと表現について	人間生活科学専攻
DB3005	イヌの介在による社会心理学的影響と心理臨床場面でのイヌ介在効果の可能性の検証	臨床心理学専攻
DB3006	一般臨床群における心理相談室への被援助中断に関する探索的研究	臨床心理学専攻
DB3007	人間味のある出生前診断を目指して	現代社会研究専攻
DB3008	ショウガオールが骨格筋細胞の代謝および運動機能に与える影響	人間生活科学専攻
DB3009	マウスのコレステロール代謝におけるパラミロンの用量反応	人間生活科学専攻
DB3010	初心者セラピストにおける終結—喪失反応に注目して—	臨床心理学専攻
DB3011	「人間失格」者の〈語り〉をめぐって ——太宰治「人間失格」を中心に——	言語文化学専攻
DB3012	「紫式部日記」の記述を基に考察する後宮及び齋院サロンにおける文学活動	言語文化学専攻
DB3013	酸性飲料による酸蝕歯発生リスク評価法の確立とアルカリイオン水によるエナメル質再石灰化促進効果の検討	人間生活科学専攻
DB3014	グループ活動における居場所感の変化および精神的健康との関係性	臨床心理学専攻
DB3015	行動変容の継続性に関する検証	人間生活科学専攻
DB3016	精神保健福祉士取得後の研修制度に関する一考察 ～専門職としての資質向上の責務～	現代社会研究専攻
DB3017	「大和物語」からみる婚姻と居住形態	言語文化学専攻
DB3018	女性同性愛者のアイデンティティ形成について —異性愛主義の視点に注目して—	臨床心理学専攻
DB3019	青年期の自己愛傾向が友人のつきあい方に及ぼす影響	臨床心理学専攻
DB3020	首尾一貫感覚向上のための心理教育プログラム開発研究	臨床心理学専攻
DB3021	若年女性の骨格筋に関する研究 —サルコペニア—	人間生活科学専攻
DB3022	摂食嚥下困難高齢者の食事と腸内細菌叢の関係に関する研究	人間生活科学専攻
DB3023	カウンセラーの介入の違いが反芻・省察思考に及ぼす影響に関する研究	臨床心理学専攻
DB3024	大麦品種 BARLEYmax の摂取が食餌性肥満モデルマウスの腸内代謝に及ぼす影響	人間生活科学専攻
DB3025	乳児の非言語的な感情の表出に対する保育者の関わり	人間生活科学専攻
DB3026	新聞記事から読む「アイビーファッション」の社会的受容 テキストマイニングを通じて	人間生活科学専攻
DB3027	和服着用時における日常動作美の解明	人間生活科学専攻
DB3028	マウスを用いた大麦摂取による糖代謝・脂質代謝に関する腸管—肝臓—脂肪組織のクロストーク解析	人間生活科学専攻
DB3029	特定保健指導において管理栄養士に求められるスキルに関する研究	人間生活科学専攻
DB3030	映像視聴によるストレスマネジメント効果の検証	臨床心理学専攻
DB3031	間質性膀胱炎患者の食事指導教育ツールにおける満足度に関する検討	人間生活科学専攻
DB3032	平織布「銘仙」の特徴と魅力の解明	人間生活科学専攻
DB3033	代表的パーソナリティ障害の独自性とオーバーラップの背景要因の検討	臨床心理学専攻
DB3034	後置修飾の理解を促す指導法	言語文化学専攻

DB3035	若年女性の体型や食行動の変化を促す食育手法	人間生活科学専攻
DB3036	親子関係の相性が摂食障害傾向と境界性パーソナリティ障害傾向に与える影響	臨床心理学専攻

3 外部資金の獲得に関する事業

科学研究費助成事業申請講座「科研塾」

■第1回科研塾

日 時：平成30年4月2日（月）10時20分頃～12時

会 場：大妻女子大学千代田キャンパス

本館 E 棟 11 階 会議室 1

テーマ：「研究活動スタート支援」応募について

講 師：大澤 清二（副学長、人間生活文化研究所長）

■第2回科研塾

日 時：平成30年4月26日（木）17時30分～19時

会 場：大妻女子大学千代田キャンパス

本館 E 棟 11 階 会議室 4

テーマ：採択される研究計画書の書き方とは？

講 師：大澤 清二（副学長、人間生活文化研究所長）

下田 敦子（人間生活文化研究所 講師）

■第3回科研塾

日 時：平成30年6月15日（金）17時30分～19時

会 場：大妻女子大学千代田キャンパス

本館 E 棟 11 階 会議室 2

大妻女子大学多摩キャンパス（テレビ会議システム）

3号館 4階会議室

テーマ：科研費申請のポイントや戦略

講 師：青江 誠一郎（家政学部長）

テーマ：科研費改革による新書式への対策

講 師：大澤 清二（副学長、人間生活文化研究所長）

■第4回科研塾

日 時：平成30年7月26日（木）17時30分～19時

会 場：大妻女子大学千代田キャンパス（東京家政学院、法政大学も招致）

千代田キャンパス E 棟(地下1階) E055 教室

【I部】

講座1：

テーマ：「科研費」の最近の動向

講 師：吉田 正男（日本学術振興会 研究事業部研究助成第一課 課長）

【II部】※学内教職員対象

事務連絡：総務センター研究支援室

講座2：

テーマ：研究計画調書作成の Do と Don't

講 師：大澤 清二（副学長、人間生活文化研究所長）

■第5回科研塾

日 時：平成30年10月3日（水）16時00分頃～18時

会 場：大妻女子大学多摩キャンパス
3号館 3329 教室

テーマ：平成 30 年度科研費申請直前講座

講 師：久保 陽介（一般社団法人先端科学技術研究支援協会 理事長）

博物館

- 1 常設展：「大妻コタカと大妻教育」
- 2 企画展
 - ・大妻学院 110 周年記念展示「コタカが生きた時代展」
- 3 特別展：
 - ① 大妻女子大学日本文学関係貴重書展示「近現代編」
共催：大妻女子大学図書館、草稿・テキスト研究所、文学部日本文学科、短期大学部国文科
 - ② 人間生活文化研究所と共同展示「東南アジア狩猟採集民の生活と子どもの発育発達」
- 4 その他の展示：千代田校舎地下 1 階アトリウムの展示ケースにガラス瓶細工を展示
- 5 開館日数・来館者数：開館日数：146 日 来館者数：2,166 名
- 6 講演会：「コタカが生きた時代「昭和」を漫画家・北見けんいちが語る」
- 7 館務実習受入れ：平成 30 年度大妻女子大学博物館学芸員課程実習生 42 名
- 8 大妻コタカ・大妻良馬研究所
 - ①資料収集
 - ・平成 29 年度作成依頼品「大妻コタカ先生生家ミニチュア」等の入手
 - ・平成 29 年度研究協力品、被服学科大網美代子先生制作「大妻コタカ先生和洋裁縫女学校卒業生作品（ドレス）」完成品の博物館移管
 - ・野々宮神社（長野県松本市梓川倭）から大妻コタカ先生揮毫書の入手
 - ・大妻コタカ先生生家ふすま絵の入手
 - ②聞き取り調査
 - ・大妻同窓会長野の会員から大妻での学びについて長野県駒ヶ根市で聞き取り調査
 - ・広島県世羅郡世羅町大田庄歴史館における「大妻コタカの生涯と大妻学院の歴史」の会場で来場者に聞き取り調査（人間生活文化研究所共同研究プロジェクト採択）
 - ・広島県世羅郡世羅町旧久恵地区在住の方々から大妻コタカ先生について現地で聞き取り調査
 - ・広島県世羅郡世羅町在住の大妻コタカ先生最晩年私設秘書から大妻コタカ先生について現地で聞き取り調査
 - ・広島県府中市で事業を興し社会貢献をされた昭和18年卒業生の親族から大妻コタカ先生との関わり等について聞き取り調査
 - ・大妻同窓会長野の会員から大妻での学びについて大妻コタカ記念会館にて聞き取り調査
 - ③実地調査
 - ・広島県世羅郡世羅町「世羅高校同窓会」にて大妻コタカ先生関係の資料調査
 - ・広島県世羅郡世羅町「聖神社」にてコタカ先生寄付石碑調査
 - ・広島県世羅郡世羅町旧三川中学に跡地に遺る大妻コタカ先生「愛郷崇祖」石碑調査
 - ④図書及び雑誌等の諸資料の収集及び内容の調査研究
 - ⑤大妻コタカ・大妻良馬に係わる収蔵庫資料整理を実施
 - ⑥DVD「あなたの知らない大妻の歴史」を一般財団法人大妻コタカ記念会と共同制作
9. その他
 - ・収蔵品「瓶細工」の貸出 第 99 回「女子教育を支え続ける大妻学院の宝物」展
10 月 9 日（火）～10 月 27 日（土） 千代田区図書館 9 階出張古書店コーナー

地域連携

1 平成30年度 地域連携・貢献プロジェクト

このプロジェクトは、地域連携活動の一層の推進と発展を図ること、地域の皆さまへ本学の教育と研究成果を還元し、地域社会の教育・学術・文化の発展に貢献する活動の推進を図ることを目的として活動費を助成し実施しているものです。特に、学生が主体的に参加することで学生の教育に反映できる活動を推進しています。

地域連携プロジェクトは地域の皆さまと連携・協力しグループで行う活動、地域貢献プロジェクトは教職員1人でも実施可能な活動です。

(1) 地域連携プロジェクト採択課題一覧

代表者	所属	プロジェクト名
石井 雅幸	家政学部	三番町アダプトフラワーロードの会との地域美化活動
小川 浩	人間関係学部	障害者雇用企業との連携によるTボール大会の開催
加藤 悦雄	家政学部	親子の居場所づくりに向けた「大泉こども食堂」プロジェクト
川之上 豊	家政学部	坂の上の町を囲碁で盛り上げる
藏野 ともみ	人間関係学部	誰もが子ども見守り隊プロジェクトー子どもも大人も誰かが不自由だと思ふことを知るために、私たちの「伝える」取組みー
甲野 毅	家政学部	千代田&多摩地域 子供自然体験教育プロジェクト
炭谷 晃男	社会情報学部	どろん子大運動会と寺子屋活動
高波 嘉一	家政学部	大学近隣店舗と学生とのコラボレーションによる「健康×ボランティア」プロジェクト
田中 直子	家政学部	むささび食堂：食事で心の共生を
深水 浩司	教職総合支援センター	神保町の出版と書店を元気にするプロジェクト
細谷 夏実	社会情報学部	能登の里海を守る：伝統漁と地域の活性化プロジェクト
堀 洋元	人間関係学部	唐木田発：学生と地域でコラボする体験型防災講座
松田 晃一	社会情報学部	地域の子どもたちが体を動かして仲間と遊べるロボット中心の遊び環境づくり支援
松本 暢子	社会情報学部	多摩における子育て家族の居住・住み替え支援プロジェクト
八城 薫	人間関係学部	からきだ匠(たくみ)カフェ～地域がつながる場所～
山本 真知子	人間関係学部	里親・ファミリーホームの子ども支援プロジェクト

(2) 地域貢献プロジェクト採択課題一覧

代表者	所属	プロジェクト名
大西 一也	家政学部	子どもの創造性を育てるものづくりワークショップ
小川 浩	人間関係学部	障害者雇用を支える現場スタッフのためのゼミナールⅡ
久保 忠行	比較文化学部	ジュニアアスリートのためのスポーツ栄養セミナー
藏野 ともみ	人間関係学部	認知症や精神疾患を抱える人々の地域移行・地域定着を学ぶワークショップ
高田 馨里	比較文化学部	東京都少女サッカー大会(小学生)支援プロジェクト

富永 暁子	短大家政科	「だし」で育む和食のみらい推進プロジェクト2
堀口 美恵子	短大家政科	大妻力を世羅町の第6次産業支援につなげる地域貢献活動の試み

2 平成30年度 地域住民向け講座

(1) 地域連携推進センター自主企画等

開催日	講座名	担当教員数	協力学生数	参加人数
5月26日(土)	「外国人おもてなし語学ボランティア」育成講座(本学学生対象)	1	-	35名
7月11日(水)～ 13日(金)	浴衣着付け講座	1	-	14名〔地域の方6名、学生8名〕
8月7日(火)	夏休み プログラミング教室&理科実験(多摩校)	3	7	36名(小学生32名、保護者4名)
8月12日(日)	夏休み 小学生企画 第1弾 理科実験教室(千代田校)	2	9	42名(小学生41名、保護者1名)
8月22日(水)	夏休み 小学生企画 第2弾 プログラミングワークショップ&自由研究&工作教室(千代田校)	3	14	39名(小学生35名、保護者4名)
9月8日(土)	大妻みちあそび	2	6	50名(子ども30名、保護者20名)
12月1日(土)	初めてのスマホ教室	1	5	9名
12月8日(土)	暮らしの中の書道	1	-	9名

3 地域との交流事業

(1) チャリティコンサート

開催場所：大妻講堂

開催日	コンサートタイトル	来場者数	募金金額
11月17日(土)	「学校法人大妻学院創立110周年記念オルガンコンサート」	約550名	240,119円

(2) 地域の方との懇談会

開催日：平成30年6月16日(土)

開催場所：G棟3階アクティブラウンジ

参加人数：教職員12名、近隣町会・商店街振興組合役員及び千代田区職員の方等約20名

(3) アダプト事業(千代田キャンパス近隣花植活動)

活動日：平成30年6月16日(土)、11月6日(火)

活動内容：大学周辺歩道内の花植枡へ地域住民と一緒に花植えを実施(11月は、九段小学校全校児童も参加)。

参加人数：学生・教職員約130名、地域住民・近隣企業及び千代田区職員の方等約20名(両日)、九段小学校児童約400名(11月のみ)。

(4) 山王祭への参加

活動日：平成30年6月9日(土)

活動内容：三番町町会の一員として、御神輿を担ぐこと、山車を引くことに協力。近隣町会の皆さんと一緒に紀尾井町の清水谷公園から赤坂の日枝神社境内までを練り歩き、御神輿を奉納。

参加人数：学生約 20 名、教職員 8 名。（三番町町会の方等約 50 名と一緒に活動）

(5) みたまま祭りへの参加

活動日：平成 30 年 7 月 16 日(月)

活動内容：靖国神社みたまま祭りで御輿を担ぎ境内を練り歩く。

参加人数：学生約 100 名、教職員 6 名。（三番町町会の方等約 10 名と一緒に活動）

(6) 千代田区内一斉打ち水本庁舎前オープニングセレモニーへの参加

活動日：平成 30 年 8 月 1 日(水)

活動内容：千代田区主催、千代田区役所庁舎前で行われる区内一斉打ち水のオープニングセレモニーに参加。家政学部被服学科の協力を得て、ライフデザイン学科の学生が浴衣姿で打ち水を行った。

参加人数：学生約 14 名、教職員 3 名。（千代田区長はじめ千代田区職員、近隣大学、地域住民・企業と一緒に実施）

(7) 大妻さくらフェスティバル 2019

開催日：平成 31 年 3 月 23 日(土)

開催場所：大学校舎地下 1 階アトリウム

来場者数：約 850 名

実施内容：地域連携プロジェクト報告会、アトリウムステージプログラム、体験コーナー、千代田学事業報告(パネル展示及びポスターセッション)、御神輿展示期間：平成 31 年 3 月 8 日(金)～4 月 5 日(金)
俳句大賞(応募 526 名、1,217 句)

【中学校・高等学校(大妻4中高)の主な事業報告】

大妻中学高等学校

1 学習指導

- ①質の高い授業を実践し、高い学力を身に着けさせた。
- ②入学後に「学力を伸ばす学校」と称されることを目指し、客観的な試験数値スコアにも拘り、教員の研修、授業の質向上に向けた指導も強化した。
- ③新たな入試制度に対応しうる、英語四技能、思考力、表現力育成する機会を増やした。

2 進路指導

- ①自ら目標を掲げ、夢をあきらめずに追い求める生徒を育成した。
- ②「学ぶ」と「働く」ことのつながり、学びの目的意識を自らの将来と引き付けて考えていける機会を増やした。
- ③生き抜く上での選択肢を増やすことにもつながる上位校合格に向けた丁寧な進路指導、戦略的な時間の使い方などの指導を強化した。

3 生徒指導

- ①他者との協働、人への思いやりを育み社会性に富んだ生徒を育成した。
- ②目と手を離さず、見守るが、問題が起こっても、生徒間での自浄作用で問題解決できうる環境を施した。

4 特別活動

- ①創造力の発揮、自主性の尊重など、学校行事の時間を活かし、育成した。
- ②芸術鑑賞や特別講座などで、「本物」に触れさせ、感性を磨く経験を重んじた。
- ③大妻外の生徒からの刺激を受けられるような他流試合、コンクールへの参加を積極的に促した。

5 組織体制

- ①中期学校計画、大妻ビジョン 50 を校内外に浸透させた。
- ②生徒、保護者が安心して任せられる担任構成。
- ③進路・グローバル部を新たに設置し、教務、学年、教科、入試広報等との連携をさらに深め、大妻の際立つ特徴、象徴を校外へ発信した。
- ④教員一人ひとりの資質、指導力を向上させるにあたり、校内での学びあい、外部からの刺激などこれまで以上に教員の学びの機会を増やした。
- ⑤進学実績向上のため、アドバイザーを雇用し、外部の知見を活かし、上位校合格を増やした。

6 教育環境の充実

- ①新高1年以下、一人1台タブレットの導入
- ②小型教室整備（ゼミ室、取り出し授業などレベル別授業への備え）
- ③第2 コンピュータ室機器入替
- ④生徒用タブレットの運用管理
- ⑤無線 LAN 設備・教室電子黒板・理科室 IT 機器・教員用 PC 等の保守
- ⑥中高8・9階空調設備更新

大妻多摩中学高等学校

1 学習指導

- ①生徒の知的好奇心を刺激し、無理のない先取り教育により高い学力を身につけさせた。
- ②質の高い授業を実践することにより、入学時より学力を向上させ、生徒と保護者の満足度を上げた。
- ③2020年からの新大学入試に対応するために必要な思考力・判断力・表現力の指導を行った。

2 大妻多摩6年プロジェクト

(1) 人間関係スキル・キャリア教育プロジェクト

良き社会人を育てるための教育活動として様々なプログラムを展開した。

- ①社会性・コミュニケーション能力を養った。
 - ・人間関係スキル①～⑤ ・人間関係スキル<発展>①, ② ・SNSモラルマナー教育
 - ・ハンディキャップ体験 ・L a d y講座 など
- ②自分自身を理解させた。
 - ・適性検査①～③ ・自分史 ・私の職業適性インタビュー など
- ③職業および社会・文化を理解させた。
 - ・茶道教室①～③ ・職業調べ ・校外研修(鎌倉) ・修学旅行(京都・奈良)
 - ・勤労を考える会 ・歌舞伎鑑賞 ・職業ガイダンス など

(2) 英語・国際教育プロジェクト

新大学入試が求める英語4技能の育成と、未来の国際社会を見据えた6年間の英語・国際教育を継続した。

- ①中学段階から6年一貫の国際プログラムに系統的に参加させることによって、国際的な視野を持った世界で活躍できる「骨太の」生徒を育てた。また、そこでの成功・失敗体験をもとに、より主体的・能動的に勉強できる人間力を養った。
- ②生徒の国際舞台で働くイメージを育てるとともに、海外大学・海外留学を含めた進路選択の幅を広げた。
- ③他校生との協働を含む多様なプログラムに参加させることによって、協働と協調の精神とともに逞しさを涵養した。

3 高大連携改革に向けて「学校を変える」取組み

- ①中学入試に理社合科型試験とプレゼンテーション試験を実施することにより、多様な能力をもつ生徒を募った。
- ②定期考査の作問に記述・論述問題を増やし、新大学入試の探求型設問に対応できる能力を養った。
- ③高校1年生で「探究」の授業を実施し、「新しい学力」を養成した。
- ④各授業において発表(プレゼンテーション)の機会を増やすとともに、「主体的、対話的で深い学び」に向けた取り組みを全学で展開した。

4 教員能力養成

- ①内外での教員研修の充実をした。
- ②教員一人ひとりの指導力を向上させるために、教科の枠にとらわれない協働的授業形態を検討し、教育力により入学者の学力向上を目指した。
- ③教員同士及び生徒による教員評価を実施した。

5 進路指導：難関国公立大学合格実績のさらなる向上

社会に貢献できる人材として、より高いレベルの学問を修得することを動機として進路指導を展開し、難関国公立大学をはじめ上位私立大学への進学実績をさらに向上させた。

- ①高1、中3でハイレベル講習(3教科)を夏休みに実施した。(従前の継承)
- ②勉強合宿のシステム化(高2冬、高3夏)

③進路指導室を改築・整備し、教員の大学研究・新大学入試制度研究を先導した。

6 教育環境のさらなる充実と教育効果の向上

新図書館棟の完成に伴う学習環境のさらなる充実を受け、それらをより有効に活用することによって、教育効果の向上を目指した。

- ①約5万冊の蔵書を有する新図書館を活用し、高校1年生の「探究」活動の充実をはかった。
- ②教育の情報化の推進に向けて、電子黒板の導入とICTを活用した授業を行うことにより、思考力・判断力・表現力など大学入試制度で求められる「新しい学力」の習得を目指した。

7 教育環境の充実

- ①コンピュータ教室リプレイス及びネットワーク設備再構築（第二次計画）
- ②生徒用机椅子及び教室教卓交換
- ③教室壁面掲示板交換
- ④美術教室生徒の机の入れ替え
- ⑤職員室教員個人PCリプレイス

大妻中野中学高等学校

1 「学力向上に向けて」

(1) 27年度から開始したグローバル人材育成教育の取り組みの充実を下記の通り推進した。

①2020年の大学入試改革、指導要領改訂を先に見据えて、反転型授業による個に対応した自立型学習、話し合い等による内容理解の深化を狙った学習、発信発表を用いた自己評価及び相互評価可能な学習など、研修、他校事例の共有、授業公開等を実施してきた。旧来型の授業スタイルから、学習者の状況に応じたより効果的な授業スタイルを展開できる教員がかなり増えてきている。

今後は生徒の実質的な学力向上を目指して次の課題②とともに改善継続して取り組む。

②基礎学力の定着から、基礎学力を土台にした総合学力に至るまでの学習方法として、本校独自の「妻中サクセス(メモ～振り返りまでの一連の流れを身体化する学習方法)」「MMT(マナー・モーション)」により、生徒に「自ら学ぶ姿勢」を習慣づけるための工夫を行ってきたが、まだ学校全体の力とはなっていない。

「学習理論としての妻中サクセス」、「質の高い授業」などについて教員間のさらなる共有が今後の課題であり、次年度も改善した上で取り組んでいく。

③世界に通用する「実践的英語力」を目指して、検定等目標値を定めて、教育内容を深める取り組みを実施した結果は以下の通り。次年度も改善し、取り組みを継続する。

英検目標値；ア) 中学2年までに3級以上を90%以上 → 今年度55% (前年73%)

イ) 中学3年までに準2級を50%以上 → 今年度52% (前年32%)

TEAP 目標値；上智、早稲田 220～280

高2 GLC 平均 → 今年度264 (前年243)

高2 AD 平均 → 今年度226 (前年223)

高2 コア平均 → 今年度180 (前年163)

*参考値；都立立川国際中等学校246

④電子黒板・タブレットPCなどのICTを充分活用した多様で質の高い授業展開を目指して今後も継続して研修、研究を実施する。

*平成31年度中学1年生より、これまでの「タブレットPC」に限定するのではなく、「タブレットPCとしても使用できるノート型PC」を導入し、さらに実効性のある活用を目指す。

⑤平成28年度から開設したグローバルリーダーズクラス GLC の特徴であるグローバルイシュースタディ GIS やフランス語必修などの教育プログラムを計画通りに推進し、達成目標値を遂行

するとともに、GLC以外のクラスにもその一部を波及させる方向で検討してきた。今後はさらに全学年におけるグローバル教育をカリキュラムとして発展させる方向で検討する。

- (2) 平成30年度中学入試における算数入学生受け入れ体制を充実させるため、中学1年生に対してプログラミング教育を週1回実施した。当該生徒とその他の希望者を含めて継続受講者約30名はその成果を文化祭及び外部コンクールにて発表した。

また、算数入学生以外の中学全学年生徒に対して各教科横断型で1クラスあたり年間6時間のプログラミング教育を実施した。

今後、この生徒たちに対しては中学2年、3年及び高校に亘ってプログラミング教育を継続し、学校全体の論理的思考能力の育成や情報技術活用に関する知識や技術の習得を目指していく。

- (3) 大学入試改革に備えて十分に研究し、先進的で的確な進路指導により、生徒1人1人の進路実現の成功を、全学年横断態勢で共有協力するため、以下の取り組みを実施した。

- 4月 職員会議／前年度高校3年生入試報告会
職員会議／前年度模試検証
高3保護者／進路ガイダンス
- 5月 中3～高2保護者／進路ガイダンス
- 6月 中3～高3生徒／進路ガイダンス
- 7月 生徒保護者／海外大学進学ガイダンス
- 8月 教員対象／入試問題研究会
- 9月 職員会議／1学期模試検証
高3保護者／進路ガイダンス
職員会議／模試検証
- 10月 職員会議／高3入試検討会
中2～高2保護者／進路ガイダンス
生徒保護者／海外大学進学ガイダンス
高校生徒対象／約30大学教職員による本校訪問説明会
- 11月 高3生徒／受験校決定ガイダンス
中3～高2生徒／進路ガイダンス
- 1月 職員会議／2学期模試検証

2 「生きる力育成に向けて」

- ① SGH スーパーグローバルハイスクールの生徒像に求められる資質を全校で理解し、必要なスキルアップを確実に実践するという目標に関する取り組みは以下の通りある。

本校は平成27年度にSGHアソシエイト校に認定されて以降、これらの取り組みの結果、生徒のグローバル・マインドセット及びコンピテンシー（他者を知り、受容し、協働する意識・価値観・技能）についての5段階評価のアンケート調査を実施しており、次のような変化が見られている。まず全体的に数値の上昇がみられ、平成27年度アセスメントの全体平均値が3.02であるのに対し、平成30年度の全体平均は3.72となっており、0.7ポイントの上昇がみられた。なかでも「自己理解・自己認識」「異文化や多様性の尊重・寛容」「他者との協働作業」に関する項目が、4.0以上の数値を示しており、ESDの姿勢や態度が育成されていると評価できる。一方で、「グローバル化社会の功罪について述べることができる」が2.8、「自らの考えを（言語を含めた）様々な方法で表現することができる」が3.2とポイントが低いことから、課題探求のための知識、調査、発表スキルを高めることが今後の課題である。

- ② 将来社会人として必要な生活の基本である「7つのルール」を徹底するため、全教員によ

る丁寧な対面教育を心がけ、全ての生徒が「あいさつ」「校内美化」「遅刻防止」の基本的生活習慣の基礎をしっかりと身につけ、学力と人間力が繋がることを目指した指導を継続的に行っている。

- ③ 道徳教育、キャリア教育、ピア・サポート学習を、本校の「道徳シラバス」に基づき、全校でベクトルを統一することで、「豊かな心」を養い、自他共に誇りをもてる学校づくりを目指した指導を行った。
- ④ 「目標に向かって最後まで諦めずに努力する姿勢」を培える場面を多様に配置するために、平成 31 年度前期までに、中高 6 年間の発達段階に対応した「一貫基本シラバス」の改定を実施する。

3 「学校教育環境の整備と質向上に向けて」

- ① 今後の社会変化を見据えて、検討改善すべき課題を校内で共有すると共に、常に前進する学校としてハード、ソフト両面で教育環境革新を怠らず、その内容に取り組んできた。取り組み内容やその成果を学外に向けて公開することにより、さらに教育環境を活性化させてきた。
- ② 生徒の安全を守る為の防災・防犯体制の確認、検証を継続的に続ける。
- ③ 学校経営計画を策定し、学校評価を実施することを通して、学校の自律的な改善・改革と教育活動の質的向上を図っている。

作業日程	内 容	作業	担当
1 1 月 2 8 日 (水)	生徒対象授業アンケート(manaba)	配信	野村
～ 1 2 月 5 日 (水)	各授業時にて実施	集計	平野/坂田
1 月 1 6 日 (水)	教員対象アンケート(manaba)	配信	橋本
1 月 2 6 日 (土)	〃	集計	平野/坂田
1 月 2 6 日 (土)	地域対象アンケート 卒業生・けやき会対象アンケート	配付完了	諸橋/橋本
2 月 9 日 (金)	〃	回収	諸橋/橋本
2 月 9 日 (金)	学校評価懇話会参加予定者への案内状	送付	諸橋/橋本
1 月 2 4 日 (木)	保護者対象アンケート(manaba)	配信	橋本
2 月 7 日 (木)	〃	集計	平野/坂田
	同アンケート集計後、自由記述欄集約		学年
2 月 1 6 日 (土)	自由記述欄集約完了		学年
2 月 2 3 日 (土)	すべてのアンケートまとめ	集計完了	
2 月 2 5 日 (月)	学校評価懇話会参加予定者へ資料送付		
3 月 2 日 (土)	学校評価懇話会開催 (けやき會理事会と時間調整必要)		

＝学校経営計画検証・次年度計画策定スケジュール＝

2 月中 平成 3 0 年度学校経営計画検証及び平成 3 1 年度学校経営計画策定。

上表の教員対象アンケート結果をもとに、今年度の検証と次年度経営計画を策定。

4 月 4 日 5 日 年度当初において、校長より学校経営計画今年度重点課題を教職員に提示。同重点課題を基に、各部署、学年が今年度目標申請を提出。以降各教職員が目標申告書を校長に提出。ヒアリング開始。

- ④ 「開かれた学校」を目指し、保護者、外部への情報公開を進めて、相互理解と連携を深める。

保護者に対して；4 月末及び各学期末保護者会、各学期授業参観週間、夏期休業中 3 者面談、ホームページ、毎月発行学校通信、学年便り、クラス便り、各学年保護者対象ガイダンスなど

外部に対して；ホームページ、外部での説明会、地域イベントへの参加など

- ⑤ 組織的に広報発信と広聴に努め、地域懇談会を開いて地域との連携を深める。また、地域

活動にも積極的に参加し、理解を深めることで本校の存在価値への支援を得る努力を積み重ねてきた。

4 教育環境の充実

- ①スーパーグローバルハイスクール教育研究校として5年目、最終年度としての総括を令和2年2月に公開フォーラムで発表予定。
グローバル教育実践校として、次年度以降に向けて検討を行う。

大妻嵐山中学高等学校

1 学力の向上

- ①定期考査、外部模試、学力アセスメント等客観テストの分析を行なったが、分析結果の教科内・学校全体の共有・課題対策までには至らなかった。
- ②QQイングリッシュを中学全学年と高校1年生に導入した。中学生においては、英語力向上のみならず、国際交流や国際理解まで成果を期待できる。高校1年生ではスケジュールの調整が十分できず当初の目標の達成はできなかった。
- ③年間を通した英語の授業研究の実施として、外部指導者の法政大学 飯野先生、大妻千代田校 関先生を招聘し指導を受けた。AL公開授業研究会において全教員の研究授業を行なった。
- ④英検の全員受験を行い、中学3年全員3級、高校卒業までに全員準2級以上を取得させるため、全員受験体制は確立できた。高校の準2級以上の取得率は、1年：53%（42%）、2年：73%（72%）、3年：88%（84%）であった。
- ⑤今年度は、アクティブラーニング研修会を8回実施した。また、11月3日に公開研究会を実施した。参加者は、昨年度を上回る203名であり、受験生や保護者に参加もあった。
- ⑥進路学習指導部と情報を共有し、定期考査・各教科の評価等について検討し、生徒に負荷をかける指導体制を構築して生きた。
- ⑦特に新転任者・若手教員に対して管理職による授業参観を重点的に行い、授業改善・授業力向上を図ってきた。
- ⑧生徒アンケートと管理職による授業評価を実施してきた。管理職による授業参観がすべて教員まで行き届かず十分ではなかった。
- ⑨AL研修の一環として、コア教員を中心として相互授業見学を実施した。他教科の授業さえも参観することで授業力向上に資するものとなった。
- ⑩中学校における定期的な学力アセスメントとして、Benesse学力推移調査を年3回実施している。しかし、課題対策まで踏み込めていなかった。
- ⑪全生徒の個人成績変移カルテの作成として、Classiを活用しているが、組織的な成績変移の追跡はできていない。

2 自律心と自主性の育成、他者と協働できる力の育成

- ①挨拶・身だしなみ・時間管理等について、教員が率先垂範することを徹底させた。
- ②定期的に高校で礼法指導（着付け教室、茶道教室）を実施してきた。中学1年生全員に大妻コタカ先生言行録を配布した。道徳授業に校長講和を計画的に実施してきた。
- ③人格形成のための定期的な論語教育として、中学校全学年で、安岡貞子先生による論語講座を年間3回実施している。
- ④生徒の良さを見出し、励ます取組として、学童クラブボランティア活動や放課後子ども教室協力、小学生対象英語教室（オリーブ）講師等に参加した。また、週番活動の自主運営は定着してきた。
- ⑤他の大妻付属校との生徒会交流として、NORTHの会による交流会を実施している。
- ⑥SNSに対する講話の実施と本校メディアポリシーの徹底した指導を行うため、生徒指導部主催による生徒対象の研修会を実施している。

3 生徒の主体的な進路意識の醸成、教員の進路指導力の向上

- ①生徒の学力分析に基づいた進路指導体制の確立のため、スタディサポートによる学力、学習状況分析を行うとともに、「学びみらい PASS」を中学高校全学年実施して、教科学力・リテラシー・コンピテンシーと生徒の志向性を測定し進路指導に生かしている。
- ②系統性が見えるキャリア教育計画の策定のため、大妻グローバルリンクス・大学出張講座・高大連携・大妻ゼミとインターンシップを中学→高校と積み上げていく。
- ③進路指導部のリーダーシップによるきめ細かな進路指導の継続として、進路指導を系統的に推し進め、中学で自己理解・職業理解を図り、高校では大学理解および学部学科研究へとつなげてきた。
- ④教員による入試問題の研究については、学校全体としての取り組みは不十分であった。各教員の自主的研究にとどまっており、次年度の課題として残した。
- ⑤計画的で組織的な生徒面談について、4・9月に面談週間を設け、1週間それぞれ実施し、生徒への支援や助言を行うとともに問題や悩みの早期解決を援助している。
- ⑥進路の手引き作成と活用、学習の手引き（中学）の作成と活用について、「学習と進路」中学・高校版の作成は終了した。活用について研究を進めた。
- ⑦海外留学・進学を一層進めるための在学中の支援体制と仕組みの整備として、サンフランシスコ修学旅行、イギリス研修、オーストラリア研修、カンボジア研修、ギャップ留学、（ロータリークラブ交換留学）を実施した。

4 全教職員一丸となった積極的な入試広報の実施、本校教育の特色の一層のアピール

- ①地域の小中学校との連携として、毎月1回菅谷小学校と菅谷中学校の生徒・職員・管理職とともに、本校生徒会・職員・管理職が合同であいさつ運動の実施。吹奏楽部合同演奏会を実施してきた。
- ②学校の持つ知的財産の提供として、わくわくワークショップ8回、出張理科教室2回、オリーブ（子供英会話教室）7回、塾対象サイエンスラボ2回実施した。こうした本校独自の行事の参加者から中学入学生が多数出ており、その訴求力は高い。
- ③全教職員の目線を合わせた計画的な入試広報行事・活動を実施した。中学の入学者の好調維持（62名）と高校入学者の低迷（101名：内進生を含む）という結果だった。
- ④計画的な塾訪問の実施と情報収集として、2名の専門員による継続的な塾訪問の実施している。
- ⑤学校のホームページのこまめな更新と内容のさらなる改善については、適時に更新は行われていたが、アピール度が低かったため、基本構成からリニューアルを行った。
- ⑥メディアを使った地域への広報活動の実施（電車広告等）として、嵐山町、東松山市、比企地区の行事に参加した。
- ⑦特色ある入試制度の実施として、今年度プログラミング入試、1教科入試を導入した。

5 教育環境の充実

- ①国際理解教育体制構築・整備に向け、留学・英語教育に向けた体制構築のための研修会の参加や外部講師による講演を実施している。
- ②英語力向上指導基盤整備・強化事業として、英語教材の充実や英語科教員の研修会参加を行っている。
- ③アクティブラーニング指導基盤整備・強化事業として、年間8回の研修会を実施。若手教員を中核とした小グループを作り、小グループ単位で自主公開授業を行って研修を続けた。11月にはその集大成として全教員による公開授業研究会を行った。
- ④イングリッシュアイランド設置・整備事業として、旧図書館の書庫をイングリッシュアイランド化し、その整備は終了した。

4 中高入試結果

千代田中高

中学入試結果

平成 31 年 3 月 31 日現在

試験名	試験日	募集 人数	志願 者数	受験 者数	合格 者数	入学予 定者数
第 1 回試験	平成 31 年 2 月 1 日(金)	100	335	306	117	270
第 2 回試験	平成 31 年 2 月 2 日(土)	100	684	565	248	
第 3 回試験	平成 31 年 2 月 3 日(日)	40	522	373	82	
第 4 回試験	平成 31 年 2 月 5 日(火)	40	451	355	45	
海外帰国生試験	平成 30 年 12 月 16 日(日)	若干名	75	73	43	15
合計		280	2,067	1,672	535	285

多摩中高

中学入試結果

平成 31 年 3 月 31 日現在

試験名	試験日	募集 人数	志願 者数	受験 者数	合格 者数	入学予 定者数
第 1 回入試	平成 31 年 2 月 1 日(金)	50	91	84	42	34
午後入試	平成 31 年 2 月 1 日(金)	20	151	149	100	25
第 2 回入試 (4 科型)	平成 31 年 2 月 2 日(土)	40	198	110	88	50
第 2 回入試 (合科型)	平成 31 年 2 月 2 日(土)	10	20	17	13	7
第 3 回入試	平成 31 年 2 月 4 日(月)	20	177	46	34	23
プレゼンテーション入試	平成 31 年 2 月 4 日(月)	若干名	6	2	1	1
帰国生入試	平成 30 年 11 月 25 日(日)	若干名	15	15	13	7
国際生・帰国生入試	平成 31 年 2 月 1 日(金)	若干名	2	2	2	2
合計		140	660	425	293	149

中野中高

中学入試結果

平成 31 年 3 月 31 日現在

試験名	試験日	募集 人数	志願 者数	受験 者数	合格 者数	入学予 定者数
第 1 回アドバンス入試	平成 31 年 2 月 1 日(金)	50	134	121	56	34
第 2 回アドバンス入試	平成 31 年 2 月 1 日(金)	40	400	376	226	38
第 3 回アドバンス入試	平成 31 年 2 月 2 日(土)	40	433	276	182	73
第 4 回アドバンス入試	平成 31 年 2 月 3 日(日)	25	250	112	74	45
算数入試	平成 31 年 2 月 1 日(金)	15	19	18	17	8
新思考力入試	平成 31 年 2 月 4 日(月)	15	73	33	19	12
第 1 回グローバル入試	平成 31 年 2 月 1 日(金)	36	12	12	12	9
第 2 回グローバル入試	平成 31 年 2 月 3 日(日)		26	13	12	8
シンガポール会場入試	平成 30 年 10 月 20 日(土)		21	21	21	3
第 1 回海外帰国生入試	平成 30 年 11 月 17 日(土)		83	83	79	12
第 2 回海外帰国生入試	平成 31 年 1 月 12 日(土)		11	11	11	6
合計		221	1,462	1,076	709	248

嵐山中高

中学入試結果

平成 31 年 3 月 31 日現在

試験名	試験日	募集 人数	志願 者数	受験 者数	合格 者数	入学予 定者数
第 1 回一般入試	平成 31 年 1 月 10 日 (木)	20	143	140	115	2
第 2 回一般入試	平成 31 年 1 月 10 日 (木)	15	146	140	110	5
第 3 回一般入試	平成 31 年 1 月 23 日 (水)	若干名	63	23	20	1
奨学生入試	平成 31 年 1 月 12 日 (土)	若干名	75	63	23	0
まなび力入試	平成 31 年 1 月 10 日 (木)	30	59	57	56	51
みらい力適性検査型入試	平成 31 年 1 月 11 日 (金)	15	22	15	13	0
みらい力表現型入試① ストーリーテリング	平成 31 年 1 月 11 日 (金)		12	9	9	1
みらい力表現型入試② プログラミング	平成 31 年 1 月 11 日 (金)		4	4	4	1
みらい力 1 教科型入試	平成 31 年 1 月 11 日 (金)		9	5	3	0
帰国生入試	平成 30 年 12 月 1 日 (土)	若干名	1	1	1	1
合計		80	534	457	354	62

高校入試結果

平成 31 年 3 月 31 日現在

試験名	試験日	募集 人数	志願 者数	受験 者数	合格 者数	入学予 定者数
第 1 回入試 (単願推薦)	平成 31 年 1 月 22 日 (火)	180	55	55	55	55
第 1 回入試 (併願推薦)	平成 31 年 1 月 22 日 (火)		114	114	114	19
第 1 回入試 (単願一般、 併願一般)	平成 31 年 1 月 22 日 (火)		1	1	1	0
第 2 回入試 (併願推薦)	平成 31 年 1 月 23 日 (水)		38	37	36	3
第 2 回入試 (併願一般)	平成 31 年 1 月 23 日 (水)		1	1	0	0
帰国生入試	平成 30 年 12 月 1 日 (土)	若干名	2	2	2	1
合計		180	211	210	208	78

※募集人数には大妻嵐山中学校からの内進生も含む。

【管理運営(法人関係)の事業報告】

本年度の計画に対する進捗状況

1 社会的責任

- ① 本学院の使命、教育理念等を見直し、大妻学院中期計画を策定した。また、その実現のため今後 10 年を見据えた「VISION OTSUMA 2028」や今後 5 年間の「アクションプラン」を定め、全学的に進捗管理を図っていくこととした。
- ② 理事等の担当役割を定め、責任を明確化し学院の管理・運営にあたることとした。
- ③ 「大妻女子大学利益相反マネジメントポリシー」及び「大妻女子大学利益相反マネジメント規程」を制定し、利益相反を適切にマネジメントすることで教職員等が安心して産学官連携活動に取り組めるようにした。
- ④ 「学校法人大妻学院自己点検・内部質保証委員会規程」を改正し、副学長の業務執行状況に関する検証及び評価を追加した。
- ⑤ 「平成30年度学校法人大妻学院監事監査計画」を定め、平成30年度の重点監査事項を「学校

毎の入学者決定、単位認定、卒業認定の適正性の確認」及び「学生・生徒の入休退学者の管理状況の確認」とした。

2 法人組織の管理運営体制の見直し

(1) 事務組織の改組

- ①学院の所管横断的な経営戦略の提案等を通じて、学院の効率的な法人運営及び意思決定の支援を行い、学院の経営戦略や各学校の改革推進を強化することを目的として理事長・常任理事会直結の「企画・戦略室」を新たに設置した。
- ②人間生活文化研究所と協働し、科学研究費補助金等の獲得支援を行うなど、大学の研究活動の活性化を推進することを目的として総務センターの下に「研究支援室」を新たに設置した。
- ③多岐に亘る寄付金（現物寄付を含む）の業務を一元化・専従化することにより、戦略的な寄付募集事業を促進するため財務センターの下に「寄付・募金グループ」を新たに設置した。
- ④その他、多摩キャンパスから千代田キャンパスの学部移転や事務の効率化のため、多摩事務部の組織変更を行った。

(2) 教職員のキャリア形成支援

- ①新規採用職員に対し、社会人として求められる基礎的な仕事力（「社会人としての考え方」「ルール」「常識」「マナー」「言葉遣い」「仕事の捉え方」「仕事の進め方」「効率よく仕事をするための時間管理」）の強化を目的とした研修を実施した。
- ②大学運営業務に必要な知識・スキルを得るための研修（「桐 10 中級 I・II」）及び SD 活動の連携を結ぶ他大学との連携により、大学におけるクレーム対応について必要な知識や適切な対応方法を修得し、相手の立場に立った心情理解、対応能力の向上を目的とした研修（「苦情・クレーム対応研修」）を実施した。
- ③教職員を対象としたメンタルヘルス研修会を充実させ、働きやすい職場形成の一助とした。

(3) 業務の効率化

Web 申請等により各種諸届を容易にかつ迅速に手続を進められるよう新会計システムを導入した。

(4) 財政のさらなる健全化

- ①新設した「企画・戦略室」において今後の財務状況について検討を行った。
- ②新設した「寄付・募金グループ」において戦略的な寄付募集事業を次のとおり促進することにより、学校法人大妻学院の財政基盤強化を図った。
 - ・学校法人が取り組む教育研究に対して広く一般の方から寄付金を募集した。
 - a) 書籍等の売却金が学院の寄付金になる「古本募金」を 10 月から開始した
 - b) 寄付金を原資とした「学校法人大妻学院石間奨学金」を開設した
 - ・寄付手続きの利便性を高め、さらなる募集促進を促すため、寄付受付用ゆうちょ口座を 4 月に新設した。
 - ・主に小口寄付が税制上で優遇される税額控除制度を認可申請し、承認された（平成 30 年 5 月 28 日承認）。
- ③今後 10 年間の運用方針を策定し、新たに発足した資産運用会議で資産運用の報告、新規取組案件の検討を行った。

(5) 危機管理体制の構築

災害・事故・事件等危機が発生した場合に、学生の被害や資産の損失、および本学イメージの失墜等を最小限に防ぐため、専門のコンサルティング会社の支援を受けながら学院に関する危機管理マニュアル等を作成し、関連規程を整備して危機管理体制を強化した。

(6) 創立 110 周年記念事業

- ①学院全体で創立 110 周年のイベントを実施し、記念品やパンフレットを作成することにより教職員、学生、生徒の大妻の帰属意識と求心力を高めた。

②110 周年記念事業の実施に向けて、広く一般の方からの寄付金募集を行った（募集期間：平成30年4月1日～平成30年12月31日）。

(7) 広報

大妻学院創立110周年を迎え、歴史ある本学のPRを以下の広報媒体を活用し実施

- ・プロモーションムービーの製作
- ・オリジナルウォーターの製作
- ・学寮リーフレットの制作

職員研修（SD研修）

1 学内研修会

(1) 新人職員研修

平成30年4月2日(月) 9:00～17:00
講師：株式会社インソース 中尾恵美氏

(2) 防災研修

平成30年6月28日(木) 13:00～14:30 (千代田校)
講師・指導：クライシスインテリジェンス株式会社 代表取締役 浅利眞氏

(3) 事務職員研修

桐10 中級Ⅰ
平成30年9月3日(月) 10:00～17:00 (千代田校)
桐10 中級Ⅱ
平成30年9月4日(火) 10:00～17:00 (千代田校)
講師：株式会社管理工学研究所 小川磨美子氏

(4) 第1回メンタルヘルス研修会

平成30年9月10日(月) 14:00～15:30 (千代田校)
講師：株式会社プラスアルファ 代表取締役 井口和子氏

(5) 苦情・クレーム対応研修

平成30年9月11日(火) 13:00～16:30 (二松學舎大学 九段校舎)
講師：株式会社フォーブレーション 稲好智子氏

(6) 知的財産講習会

平成30年9月12日(水) 14:00～15:30 (千代田校・多摩校)
講師：高原特許商標事務所 所長 弁理士 高原千鶴子氏

(7) AED（自動体外式除細動器）の取扱講習会

平成30年12月6日(木) 13:30～14:30 (千代田校)
講師：東京消防庁麴町消防署警防課救急係 消防司令補 今西真太郎氏

(8) 第2回メンタルヘルス研修会

平成31年2月20日(水) 13:30～15:30 (千代田校)
講師：レジリエ研究所株式会社 所長 市川佳居氏

(9) ハラスメント相談員研修会

平成31年3月7日(木) 15:00～16:30 (千代田校)

(10) 生命科学研究倫理研修会

平成31年3月25日(月) 14:30～15:30 (千代田校・多摩校)

2 学外研修会

月 日	研修会名等	主催	場所
4月16日	『大学価値を高めるための競争的資金獲得と研究者育成及び研究支援組織のあり方』	一般社団法人大学監査協会	東京理科大学
4月16日	平成30年度大学評価実務説明会	大学基準協会	法政大学
4月19日	平成30年度大学・短期大学評価セミナー	日本高等教育評価機構	アルカディア市ヶ谷
4月20日	平成30年度第1回大学・企業合同部会	公益社団法人学術・文化・産業ネットワーク多摩	帝京大学
4月23日	2018年度第1回生活科学系大学知的財産管理ネットワーク定例会		実践女子大学
4月25日	平成30年度第1回大学経理財務研究委員会	大学経理財務研究委員会	アルカディア市ヶ谷
4月26日	監査制度研究講座「内部監査体制の構築と強化」	公益社団法人私学経営研究会	東京ガーデンパレス
4月26日	平成30年度東京都私立学校向け助成事業説明会	東京都私学財団	東京都私学財団
4月27日	大学労務研究会		東京工科大学
5月16日	「労働安全衛生法の理解を深める」研修会		産業保健総合支援センター
5月17日	第9回教育ITソリューションEXPO及び第1回学校施設・サービス展	リードエグジビションジャパン株式会社	東京ファッションタウンビル
5月18日	第9回教育ITソリューションEXPO及び第1回学校施設・サービス展	リードエグジビションジャパン株式会社	東京ビッグサイト西ホール
5月18日	平成30年度大学図書館シンポジウム	国交私立大学図書館協力委員会	早稲田大学
5月20日	日本学生相談会第36回大会		神奈川県民ホール
5月21日	私学教職員の労務管理	公益財団法人私学経営研究会	東京ガーデンパレス
5月22日	「女子大広報改革研究会」～共学志望者を獲得するために～	株式会社進研アド 東京支社	株式会社進研アド
5月23日	Exchangeカンファレンス2018		品川インターシティホテル
5月24日	平成30年度全国大学入学者選抜研究連絡協議会大会（第13回）	独立行政法人大学入試センター	電気通信大学
5月24日	vSolution MATRIX ワークショップ		ベルサール新宿グランドコンファレンスセンター
5月25日	「潜伏化する脅威に立ち向かうプロによるEDR運用サービス」セミナー	株式会社ソリトン	JR 新宿ミライナタワー
5月25日	平成30年度全国大学入学者選抜研究連絡協議会大会（第13回）	独立行政法人大学入試センター	電気通信大学
5月25日	「ストレスチェック制度施行2年を経過して」		産業保健総合支援センター
5月25日	“事務担当者”のための「科研費制度 傾向と対策」セミナー	株式会社羊土社	株式会社羊土社
5月25日	大学FD学習会2018	株式会社ソフトウェア	赤坂山王健保会館

5月28日	「Windows ファイルサーバーの限界や課題」	株式会社オープンソース活用研究所	マジセミ竹芝オフィス
5月30日	「日本留学試験」東京23区ブロック会議		東京大学本郷キャンパス
5月31日	「労働衛生管理基礎講座②」		産業保健総合支援センター
5月31日	私立大学情報教育協会第20回臨時総会		アルカディア市ヶ谷
6月5日	平成30年度第1回私学共済事務担当者連絡会	日本私立学校振興・共済事業団	東京ガーデンパレス
6月6日	JAFSA 創立50周年記念講演会	JAFSA	国際文化会館
6月7日	大学改革支援・学位授与機構認証評価説明会および研修会	大学改革支援・学位授与機構	一橋講堂
6月7日	国際交流危機管理セミナー	日本アイラック	新宿NSビル
6月7日	平成30年度第2回大学経理財務研究委員会	大学経理財務研究委員会	アルカディア市ヶ谷
6月7日	危険物実務講習会	麹町消防署	麹町消防署
6月7日	New Education Expo 2018	New Education Expo 実行委員会	東京ファッションタウンビル
6月8日	2018年度私立大学図書館協会東地区部会研究講演会	私立大学図書館協会	共立女子大学共立講堂
6月8日	私学共済事務担当者連絡会		東京ガーデンパレス
6月8日	New Education Expo 2018	New Education Expo 実行委員会	東京ファッションタウンビル
6月9日	平成30年度定時会員総会・多摩未来創造フォーラム	公益社団法人学術文化産業ネットワーク多摩	玉川大学
6月11日	平成30年度知的財産権制度説明会	独立行政法人工業所有権情報・研修館	すみだ産業会館
6月12日	学生支援における実践的キャリアカウンセリング	私大職員研修センター	アルカディア市ヶ谷
6月13日	第1回大学入試・広報セミナー	株式会社 KEI アドバンス	ベルサール九段
6月15日	ABS（海外からの遺伝資源）の取得及び利用手続き講習会	国立遺伝学研究所	TKP 東京駅前カンファレンスセンター
6月18日	私経研特別セミナー「学校法人会計の仕組みと実務」	公益社団法人私学経営研究会	東京ガーデンパレス
6月18日	千代田区内大学と千代田区の連携協力		千代田区役所 401 会議室
6月22日	GAKUEN 製品勉強会	日本システム技術株式会社	JAST 東京支社
6月25日	平成30年度大学生の健康づくりネットワーク会議	東京都南多摩保健所長	南多摩保健所
6月26日	働くひとのメンタルヘルス最前線		産業保健総合支援センター
6月26日	防災センター要員講習・自衛消防業務講習	一般社団法人東京防災設備保守協会	本所都民防災教育センター
6月28日	「大学教職員対象大学入試研究会」	学校法人高宮学園代々木ゼミナール	代々木ゼミナール本都校

6月28日	GAKUEN 製品勉強会	日本システム技術株式会社	JAST 東京支社
6月28日	2018年度第一回「Between セミナー」	株式会社進研アド	TKR ガーデンシティ PREMIUM 秋葉原
6月29日	監査課題研究会議「業務効率性と監査」	一般社団法人大学監査協会	東京理科大学森戸記念館
6月29日	第50回東京地区大学入試センター試験に関する入試担当課長会議	成蹊大学入試センター	成蹊大学
7月2日	平成30年度協定大学防災事務担当者連絡会	千代田区政策経営部	千代田区役所本庁舎
7月3日	高大接続改革研究会	株式会社進研アド	新宿三井ビル
7月6日	GAKUEN 製品勉強会	日本システム技術株式会社	JAST 東京支社
7月9日	平成30年度第3回大学経理財務研究委員会	大学経理財務研究委員会	アルカディア市ヶ谷
7月11日	第5回働き方改革 EXPO	リードエグジビションジャパン(株)	東京ビッグサイト
7月11日	第9回教育ITソリューション EXPO		東京ビッグサイト
7月12日	平成30年度文部科学省寄付フォーラム	文部科学省大臣官房政策課	文部科学省東館
7月13日	私学共済事務担当者研修会「年金」	日本私立学校・共済事業団	東京ガーデンパレス
7月17日	自衛消防業務講習	一般社団法人東京防災設備保守協会	消防技術試験場
7月17日	「内外経済と市場展望」セミナー	ドイツ証券	パレスホテル東京
7月17日	平成30年度第2回大学・企業合同部会	公益社団法人学術・文化・産業ネットワーク多摩	明星大学
7月18日	私学共済事務担当者研修会「年金コース」	日本私立学校・共済事業団	東京ガーデンパレス
7月19日	平成30年度第1回私学共済事務担当者研修会「資格・短期コース」	日本私立学校・共済事業団	東京ガーデンパレス
7月19日	一歩先を行く「科研費改革」対策セミナー	株式会社エデュース	中央大学駿河台記念館
7月20日	学校・教育法実務研究会		青山学院大学
7月20日	平成30年度第1回私学共済事務担当者研修会「年金コース」	日本私立学校・共済事業団	東京ガーデンパレス
7月23日	私学共済事務担当者研修会「資格・短期コース」	日本私立学校・共済事業団	東京ガーデンパレス
7月24日	自衛消防業務講習	一般社団法人東京防災設備保守協会	本所防災館
7月26日	防災センター要員講習	一般社団法人東京防災設備保守協会	本所都民防災センター
7月27日	第72回募金等担当者連絡会		芝浦工業大学
7月27日	Smart Works Seminar2018	富士ゼロックス株式会社	六本木ティーキューブ
7月30日	就職支援に役立つデータベース活用法2018	(株)プロネクサス	(株)プロネクサス
7月30日	私学共済事務担当者研修会「資格・短期コース」	日本私立学校・共済事業団	東京ガーデンパレス

7月31日	学校法人セミナー「未来を導く大学の将来構想」	大和証券株式会社	ザ・プリンスパークタワー東京
8月2日	全国大学保健管理協会関東甲信越地方部会研究集会	公益社団法人全国大学保健管理協会	慶應義塾大学三田キャンパス
8月2日	『大学におけるサイバーセキュリティと監査』	一般社団法人大学監査協会	同志社大学東京キャンパス
8月7日	『性暴力被害の影響と適切な支援』	東京都生活文化局	東京ウィメンズプラザ
8月22日	平成30年度東京都南多摩保健所自殺対策推進研修	八王子市保健所・町田市保健所	JTBビルフォレスト
8月29日	特許情報プラットフォーム(J-PlatPat)講習会	特許庁	特許庁庁舎
8月30日	日本心理臨床学会第37回大会	日本心理臨床学会	神戸国際会議場他
9月3日	大学入学者選抜と『学力の3要素』	大学入試センター	学術総合センター一橋講堂
9月3日	「働く現場見学会」	一般社団法人東京経営者協会	㈱アトレ・国際自動車(株)
9月4日	監査課題研究会議「大学の価値向上に結びつく業務監査－科学研究費補助金・大学事務部門を中心に－」	一般社団法人大学監査協会	東京理科大学森戸記念館
9月5日	平成30年度第4回大学経理財務研究員会	日本私立大学協会・国際交流委員会	アルカディア市ヶ谷
9月5日	平成30年度知的財産権制度説明会	一般社団法人発明推進協会	きゅりあん
9月5日	大学図書館コンソーシアム連合2018年度版元提案説明会	大学図書館コンソーシアム連合	一橋大学一橋講堂
9月6日	第18回「私立短期大学入試広報担当者研修会」	日本私立短期大学協会	実践女子大学
9月6日	平成30年度短期大学教育改革ICT戦略大会		アルカディア市ヶ谷
9月7日	職員の基本知識『大学制度』とは何かを学ぶ	法政大学	法政大学市ヶ谷キャンパス
9月10日	教育機関に退職されている水銀温度計等の回収促進に係るセミナー	環境省	主婦会館プラザエフ
9月11日	防災センター技術講習・自衛消防業務新規講習	一般社団法人東京防災設備保守協会	本所都民防災教育センター
9月12日	平成30年度私立学校経常費補助金等に係る事務説明会		杉並公会堂
9月14日	平成30年度図書館等職員著作権実務講習会	文化庁長官官房著作権課	東京大学駒場キャンパス
9月19日	防災センター要員講習・自衛消防業務講習	一般社団法人東京防災設備保守協会	消防技術試験場
9月27日	教学監査課題研究会議「教学監査基準の全体枠組と教育の質保証を対象とした教学監査の進め方」	一般社団法人大学監査協会	上智大学紀尾井坂ビル
9月28日	平成30年度ビル衛生管理講習会	東京都健康安全研究センター	なかのZERO大ホール
9月29日	京私教協2018年度第1回教員免許事務勉強会		龍谷大学

10月3日	平成30年度事務局長相当者研修会	一般社団法人私学研修福祉会	大阪ガーデンパレス
10月3日	第56回全国大学保健管理研究集会	公益財団法人全国大学保健管理協会	きゅりあん
10月9日	平成30年度日本学生支援機構奨学金業務研修会	独立行政法人日本学生支援機構	一橋大学一橋講堂
10月9日	監査課題研究会議	一般社団法人大学監査協会	上智大学
10月10日	平成30年度日本学生支援機構奨学金業務研修会	独立行政法人日本学生支援機構	一橋大学一橋講堂
10月11日	学校法人セミナー		あずさ監査法人東京事務所
10月11日	東京都帰宅困難者対策説明会		東京ビックサイト
10月16日	平成30年度大学経理部課長相当者研修会	日本私立大学協会・国際交流委員会	リーガロイヤル小倉
10月16日	日本学生支援機構奨学金業務研修会	日本学生支援機構	一橋大学一橋講堂
10月17日	2018年第2回大学入試・広報セミナー	株式会社 KEI アドバンス	ベルサール九段
10月19日	平成30年度大学改革シンポジウム	国立大学協会	学術総合センター一橋講堂
10月20日	第104回全国図書館大会東京大会		国立オリンピック記念青少年総合センター
10月22日	平成30年度ビル衛生管理講習会		たましん RISURU ホール
10月23日	初等中等学校理科教育等設備整備補助金事業・台帳説明会		中央大学駿河台記念館
10月24日	障がい者のための「就職対策コミュニケーション訓練」説明会	埼玉県立職業能力開発センター	TAC大宮校
10月26日	インターンシップの推進に係る専門人材研修会（実践編）	一般社団法人産学協働人材育成コンソーシアム	東京海洋大学
10月26日	著作権法第35条の一部改正に関するシンポジウム		東京国際交流館
10月26日	大学労務研究会第74回研究会	大学労務研究会	和光大学
10月30日	平成30年度私立短期大学教務担当者研修会	日本私立短期大学協会	アルカディア市ヶ谷
10月30日	学校施設の防災セミナー2018	文部科学省	文部科学省東館
11月1日	産業保健フォーラム	東京労働局	ティアラこうとう
11月1日	監査課題研究会議	一般社団法人大学監査協会	関西大学東京センター
11月2日	学校会計実務研究会	学校会計実務研究会	アルカディア市ヶ谷
11月2日	「卒業判定・カリキュラム登録」GAKUEN 製品勉強会	JAST 日本システム技術株式会社	JAST 日本システム技術(株)
11月7日	平成30年度「私立短期大学経理事務等研修会」	日本私立短期大学協会	ラフレさいたま
11月8日	公益法人等の税法説明会		ホテルグランドパレス
11月9日	就職・キャリア支援担当者セミナー		ベルサール飯田橋駅前

11月12日	監査課題研究会議「税務・会計部門の業務監査視点と求められる内部統制」		東京理科大学
11月13日	東京都市大学APシンポジウム		東京都市大学
11月13日	大学・高校実践ソリューションセミナー	内田洋行	内田洋行新川本社
11月13日	平成30年度「若年層を対象とした情勢に対する暴力の予防啓発研修」	内閣府	東京ウィメンズプラザ
11月14日	平成30年度学生生活にかかる喫緊の課題に関するセミナー	独立行政法人日本学生支援機構	東京国際交流間プラザ平成
11月16日	第127回農学図書館情報セミナー	日本農学図書館協議会事務局	東京農業大学図書館
11月16日	大学英語プログラム研究会	㈱ウエストゲイト	東京都市大学
11月20日	平成30年度私立大学学生生活指導担当者研修会	日本私立短期大学協会	
11月22日	第2回東京大学学術資産アーカイブ化推進室主催セミナー	東京大学学術資産アーカイブ化推進室	東京大学福武ホール
11月30日	私立大学図書館協会東地区部会2018年度研究会	私立大学図書館協会	東海大学高輪キャンパス
11月30日	東京都育英資金借用証書等事務担当者説明会		セントラルプラザ
12月1日	京私教協第2回教員免許事務勉強会	京私教協	同志社女子大学
12月1日	ACCIグローバル教育セミナー	(一社)アサヒ国際文化交流協会	エッサム神田ホール2号館
12月1日	千代田区内近接大学の高等教育連携強化コンソーシアム開設記念シンポジウム		二松学舎九段1号館
12月3日	教学監査課題研究会議	一般社団法人大学監査協会	東京理科大学
12月5日	平成30年度「障害学生支援専門テーマ別セミナー【発達障害就労支援】」	独立行政法人日本学生支援機構	CIVI研修センター日本橋
12月5日	研修「レジリエンスについて」	産業保健総合支援センター	日本生命三番町ビル
12月7日	平成30年度教員免許法の特例による社会福祉施設における介護等体験事業学校説明会	社会福祉法人東京都社会福祉協議会	東京消防庁スクウェア麹町
12月9日	第56回全国学生相談研修会	日本学生相談学会	東京国際フォーラム
12月12日	労働安全衛生法の理解を深める	産業保健総合支援センター	日本生命三番町ビル
12月13日	学校経営研究会特別セミナー		ハリウッド大学院大学
12月16日	シンポジウム「自閉スペクトラム症と精神療法的アプローチ」	東京大学コミュニケーションサポートルーム	東京大学武田ホール
12月18日	三井住友信託銀行資産運用セミナー	三井住友信託銀行	ホテルグランドアーク半蔵門
12月20日	研修「働き方改革関連法～どう変わる職場の健康管理～」	産業保健総合支援センター	日本生命三番町ビル
1月22日	大学職業指導研究会「企業と大学との賀詞交歓会・講演会」	大学職業指導研究会	ANAインターコンチネンタル東京
1月23日	平成30年度経営セミナー	東京都私学財団	東京都私学財団会議室

1月28日	労基法・安衛法・労災保険法における視点と相違点		産業保健総合支援センター
1月28日	地域と大学との連携フォーラム		大正大学
1月29日	Market Outlook Seminar2019		パレスホテル東京
2月1日	『発達障害学生白書』刊行記念シンポジウム	Kaien/ガクプロ	TKP 渋谷カンファレンスセンター
2月8日	GAKUEN 製品勉強会「期末処理・履修登録」	JAST 日本システム技術株式会社	JAST 日本システム技術(株)
2月18日	防災センター要員講習・自衛消防業務講習		本所都民防災センター
2月28日	平成30年度学校法人会計基準研修会		東京都庁第一本庁舎大会議場
2月28日	第70回結核予防全国大会	公益財団法人結核予防会・東京都結核予防会	ホテル椿山荘東京
3月4日	教学監査課題研究会議「大学監査の体系と、その中での教学監査の位置付け・内容・視点」	一般社団法人大学監査協会	上智大学
3月5日	学校法人向けセミナー	あずさ監査法人東京事務所	あずさ監査法人東京事務所
3月6日	業務および個人生活でのVDT作業と身体的不調	産業保健総合支援センター	産業保健総合支援センター
3月6日	平成30年度日本学生支援機構奨学金採用・返還誓約書業務等研修会	独立行政法人日本学生支援機構	東京国際交流館プラザ平成
3月6日	認証評価等研修会	一般財団法人東京都私立短期大学協会	アルカディア市ヶ谷
3月7日	平成30年度日本学生支援機構奨学金採用・返還誓約書業務等研修会	独立行政法人日本学生支援機構	東京国際交流館プラザ平成
3月8日	働く人の健康作りは日常生活の動作改善から	産業保健総合支援センター	産業保健総合支援センター
3月8日	平成30年度私立大学等改革フォーラム		上智大学四ッ谷キャンパス
3月12日	学生募集に関するセミナー	中央大学	中央大学駿河台記念館
3月20日	平成30年度留学生交流実務担当教職員養成プログラム：日本人学生の海外危機管理の対応について	日本学生支援機構	東京国際交流館プラザ平成 国際交流会議場
3月22日	学校法人会計事務研修会		アルカディア市ヶ谷

知的財産

(平成30年度までに取得した知的財産)

特許権	抗菌消臭材、その繊維構造物、及び医療・介護用品	第5885917号 登録日 28.2.19
意匠権	拘縮対策ハンドグリップ	登録第1418377号
商標権	おーたん	登録第5190806号
	大妻中学高等学校	登録第5263388号
	コタカさん	登録第5543809号
	創立110周年ロゴ	登録第6118092号

Ⅲ 財務の概要

【事業活動収支計算書】

(単位：千円)

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
学生生徒等納付金	13,176,993	13,060,748	13,261,796
手数料	343,281	321,994	384,361
寄付金	141,318	154,767	192,611
経常費等補助金	2,105,873	2,332,202	2,263,593
付随事業収入	419,340	438,887	407,421
雑収入	433,257	297,820	344,920
教育活動収入計	16,620,062	16,606,418	16,854,701
人件費	9,708,433	9,574,278	9,684,642
教育研究経費	5,630,854	5,785,781	5,859,136
管理経費	1,330,607	1,184,651	1,198,791
徴収不能額等	0	0	0
教育活動支出計	16,669,895	16,544,710	16,742,570
教育活動収支差額	△ 49,833	61,708	112,131
受取利息・配当金	143,058	239,990	160,495
教育活動外収入計	143,058	239,990	160,495
教育活動外支出計	0	0	0
教育活動外収支差額	143,058	239,990	160,495
経常収支差額	93,225	301,698	272,626
資産売却差額	0	1,925,645	166,499
その他の特別収入	35,751	40,294	78,352
特別収入計	35,751	1,965,939	244,851
資産処分差額	6,621	2,260,406	37,671
特別支出計	6,621	2,260,406	38,840
特別収支差額	29,130	△ 294,467	206,011
基本金組入前当年度収支差額	122,355	7,231	478,637
基本金組入額合計	△ 4,132,779	0	0
当年度収支差額	△ 4,010,424	7,231	478,637
前年度繰越収支差額	△ 15,576,845	△ 19,514,269	△ 13,956,626
基本金取崩額	73,000	5,550,413	2,725,992
翌年度繰越収支差額	△ 19,514,269	△ 13,956,626	△ 10,751,996

(参考)

事業活動収入計	16,798,870	18,812,347	17,260,047
事業活動支出計	16,676,516	18,805,116	16,781,410

【貸借対照表】

(単位：千円)

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
固定資産	112,779,439	112,483,733	111,110,889
流動資産	8,463,970	9,227,159	11,162,491
資産の部合計	121,243,410	121,710,892	122,273,380
固定負債	3,029,803	3,032,262	3,044,618
流動負債	3,061,706	3,519,498	3,590,993
負債の部合計	6,091,509	6,551,760	6,635,611
基本金	134,666,170	129,115,757	126,389,765
繰越収支差額	△ 19,514,269	△ 13,956,626	△ 10,751,996
純資産の部合計	115,151,901	115,159,131	115,637,769
負債及び純資産の部合計	121,243,410	121,710,892	122,273,380

*千円未満を四捨五入しており、合計などにおいて計算金額が一致しないことがある。

【寄付金】

1	奨学寄付金	9 件	計	11,500,000 円
2	人間生活文化研究所賛助会費	16 件	計	3,960,000 円
3	教育研究支援寄付金	48 件	計	138,013,187 円
	・個人からの寄付	(32 件		439,000 円)
	・学院関係団体、法人からの寄付	(13 件		93,974,187 円)
	・受配者指定寄付金	(3 件		43,600,000 円)
4	110周年記念事業寄付金	243 件	計	34,780,110 円
	・個人からの寄付	(203 件		8,575,110 円)
	・学院関係団体、法人からの寄付	(4 件		1,705,000 円)
	・受配者指定寄付金	(36 件		24,500,000 円)
5	古本募金	36 件	計	73,118 円
		寄付金	合計	188,326,415 円

【委託研究費】

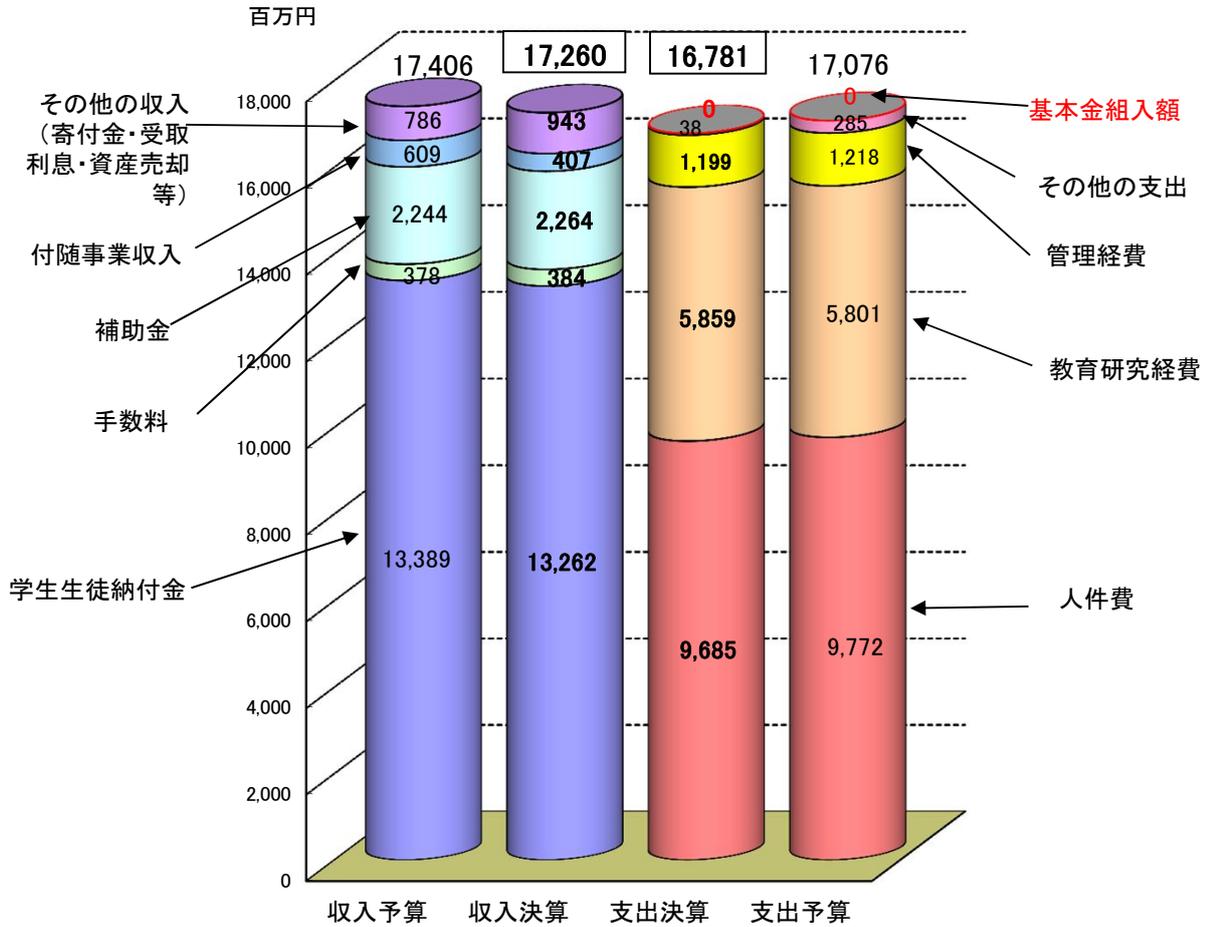
委託研究費 18 件 計 24,702,864 円

【平成 30 年度 主なる事業の概要】

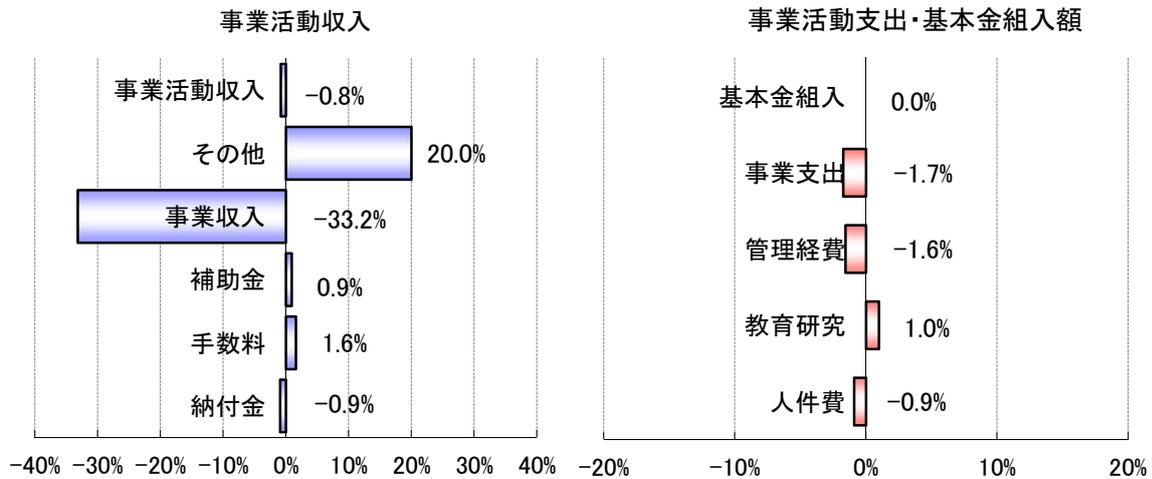
自 平成30年 4月 1日
至 平成31年 3月 31日

事業内容	目的
千代田 大学校舎電気室(A棟B1階)受電盤更新工事	設備経年劣化のため
千代田 大学校舎A棟・B棟 電灯盤・動力盤更新工事4年計画(2年目)	設備経年劣化および機能向上のため
千代田 大学校舎A棟・B棟 マイクプレート更新工事	設備経年劣化のため
千代田 大学校舎B棟632・631・643・642・745・743調理実習室 ガス台改修工事	実習機器等経年劣化のため
千代田 大学校舎C棟370・373情報処理教室 機器更新	機器経年劣化のため
千代田 平成30年度棟間接続工事(図書館棟)	設備経年劣化および機能向上のため
千代田 図書館棟AV・情報メディアルーム 機器更新	機器経年劣化および機能向上のため
千代田 中高8階 エアコン更新工事	設備経年劣化のため
千代田 中高9階 エアコン更新工事	設備経年劣化のため
千代田 中高第2コンピュータ室 機器更新	機器経年劣化のため
千代田 中高生徒用タブレットの運用管理に関わる諸費用	ICT化・学習環境向上のため
千代田・多摩 証明書自動発行機本体(パピルスメイト)更新	設備経年劣化のため
千代田・多摩 文書管理システム更新	ライセンス更新のため
千代田・多摩 平成30年度無線LAN導入	ICT化・学習環境向上のため
多摩 回廊照明増設工事	設備機能強化のため
多摩 4号館情報処理自習室 機器更新	機器経年劣化のため
多摩 6号館3階 改修工事	学習環境整備のため
多摩 高圧ケーブル更新工事(エネルギーセンター・中高間)	設備経年劣化のため
多摩 中高第1期校舎受変電設備更新工事	設備経年劣化のため
多摩 中高コンピュータ教室更新及びネットワーク設備再構築(第二次計画)	機器経年劣化および機能向上のため
多摩 中高職員室教員個人PC更新	機器経年劣化のため
千代田・多摩・中野・嵐山 改修工事に関するコンサルティング業務	技術支援およびコスト削減のため
千代田・多摩・中野・嵐山 学校法人大妻学院 創立110周年記念事業	110周年記念事業
千代田・多摩・中野・嵐山 (新)事務システム更新(平成29年度からの継続事業)	事務システム更新のため
千代田・多摩・中野・嵐山 (新)事務システム更新後の運用費用	事務システム更新に伴う運用のため

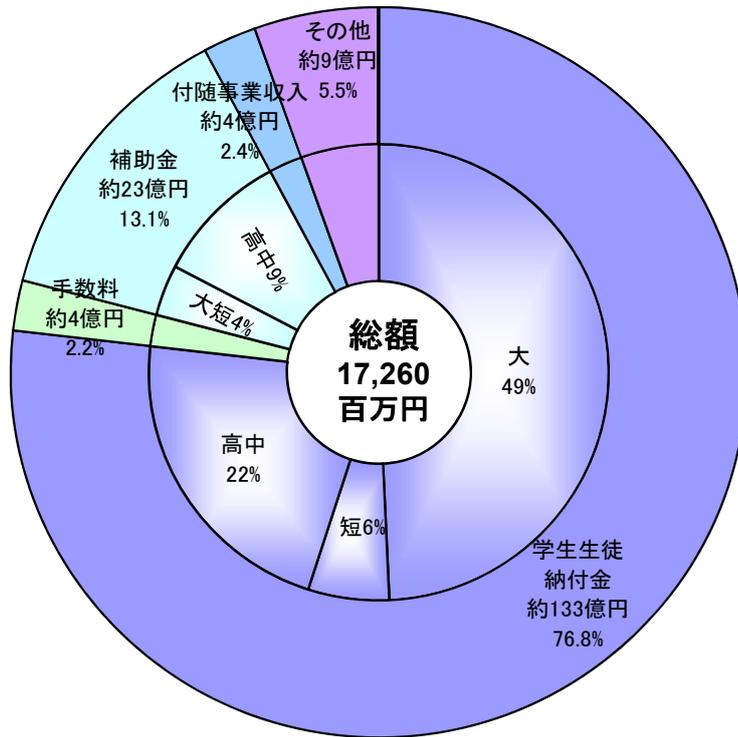
平成30年度 事業活動収支決算



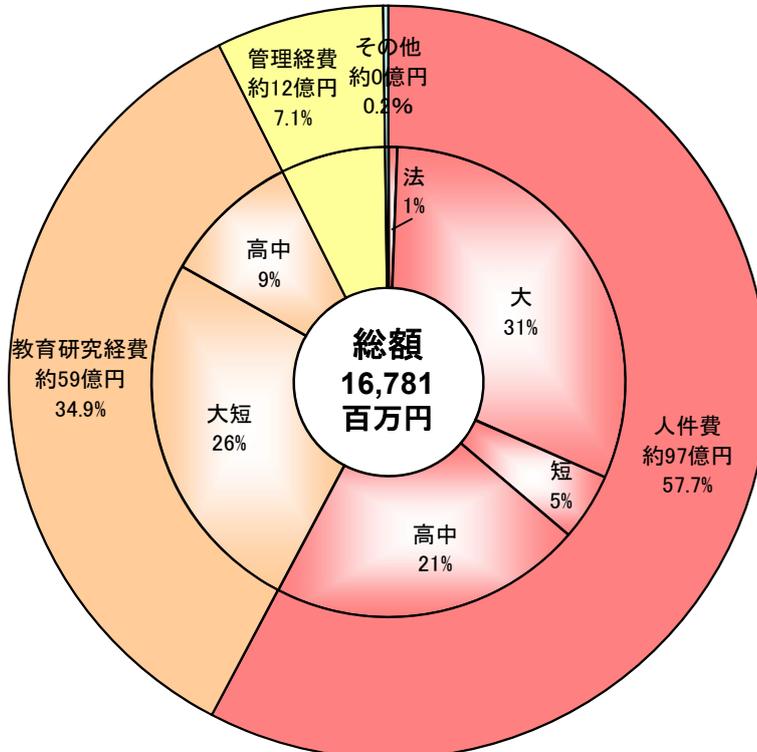
予算との差異比率



事業活動収入構成図(平成30年度決算)

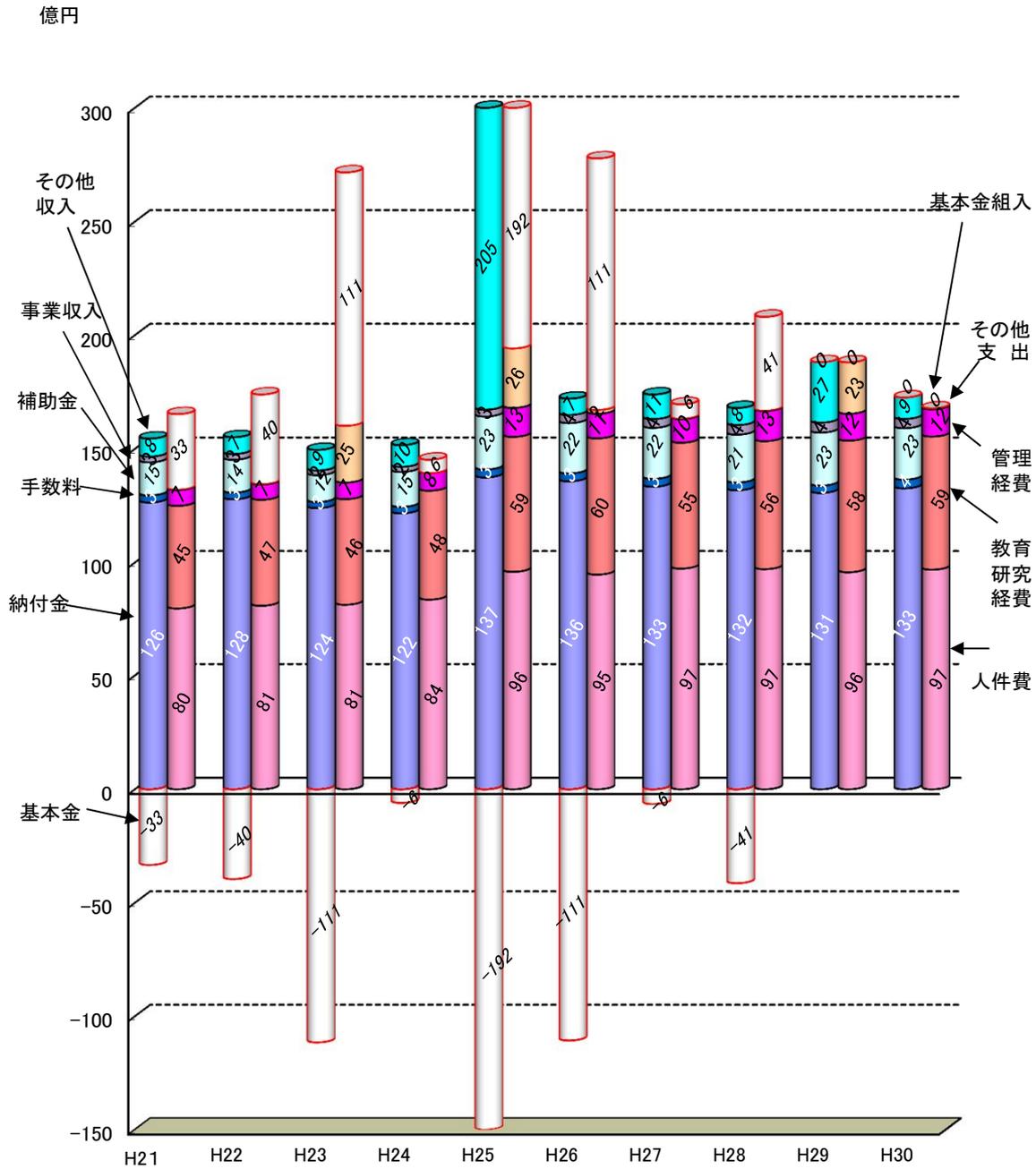


事業活動支出構成図(平成30年度決算)



基本金組入額 0円

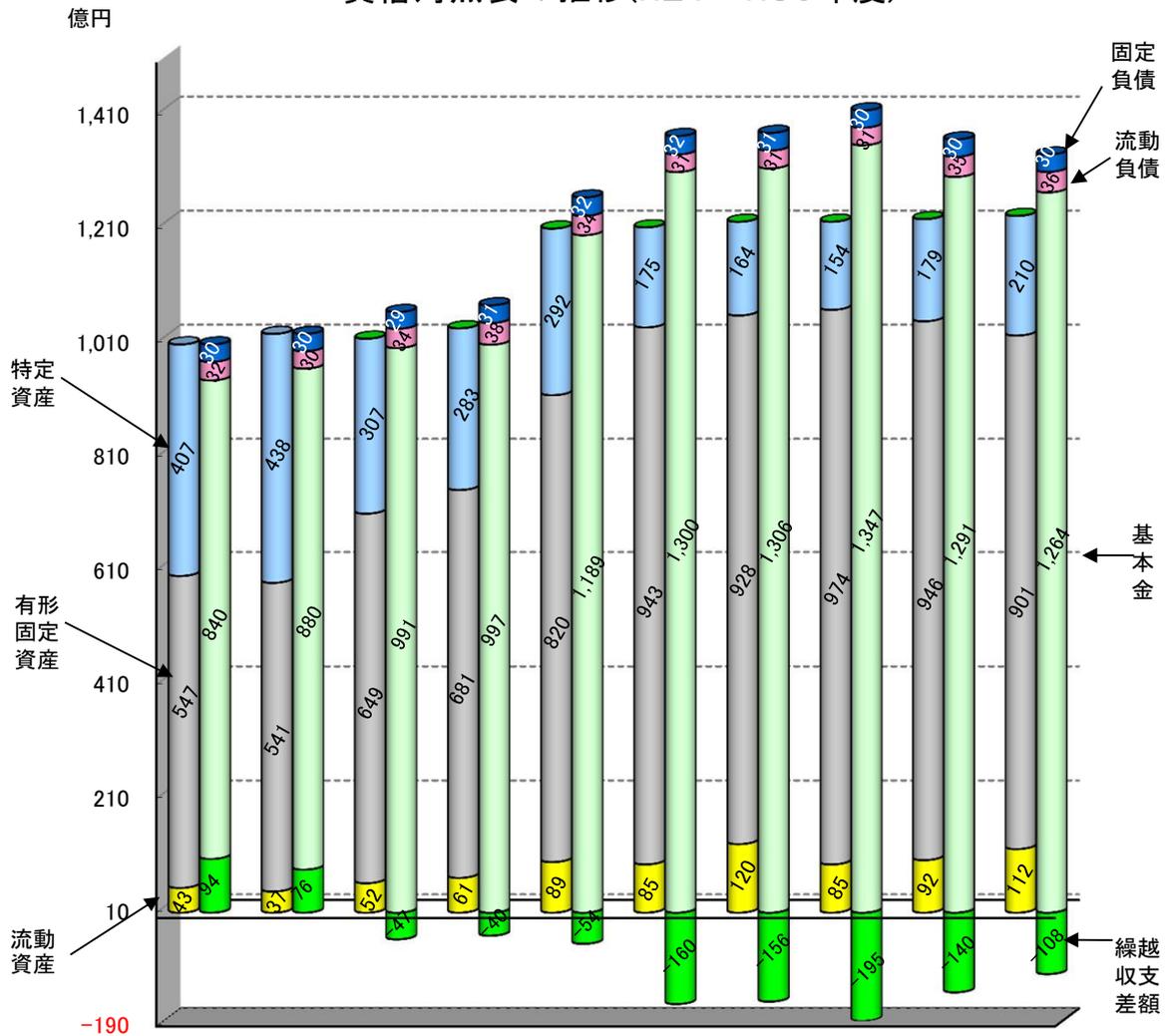
事業活動収支の推移(平成21～30年度)



○左側の円筒:事業活動収入(基本金組入額をマイナス表示[赤枠])

○右側の円筒:事業活動支出(基本金組入額をプラス表示[赤枠])

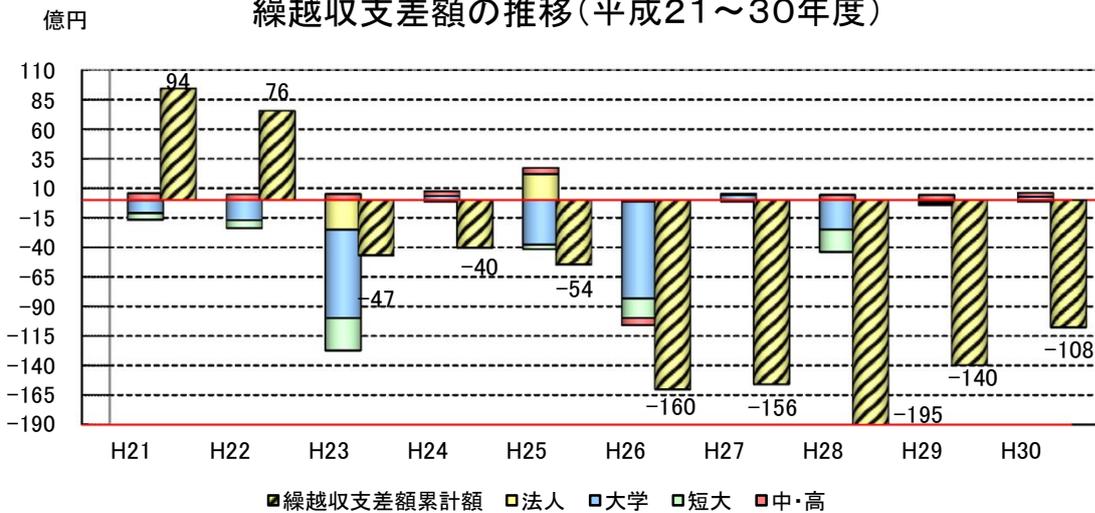
貸借対照表の推移(H21～H30年度)



○左側の棒グラフ: 資産の部

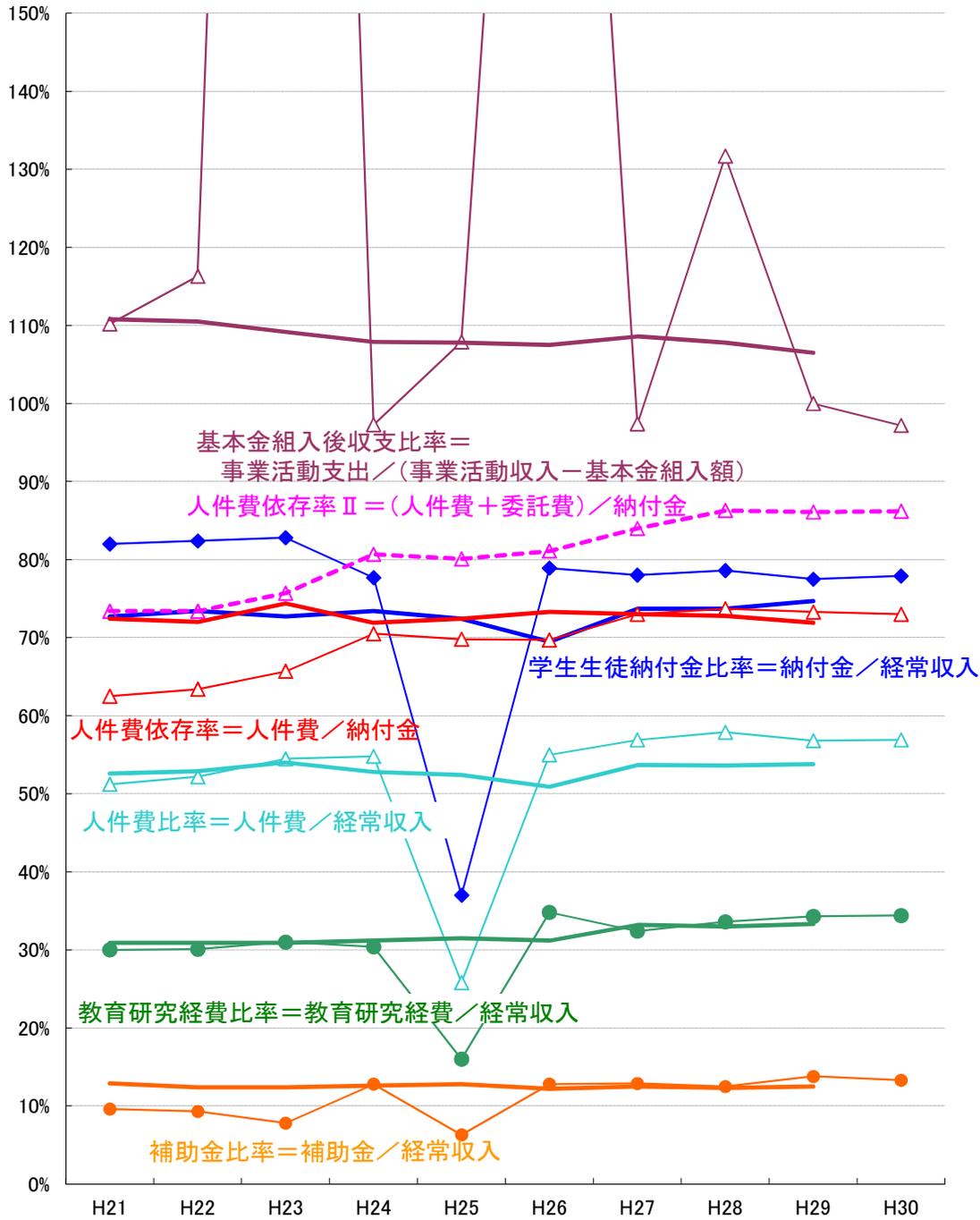
○右側の棒グラフ: 負債、基本金、消費収支差額の部

繰越収支差額の推移(平成21～30年度)



○左円柱: 当該年度収支差額(部門区分)、右円柱: 繰越収支差額累計

事業活動収支計算書関係比率(平成21～30年度)



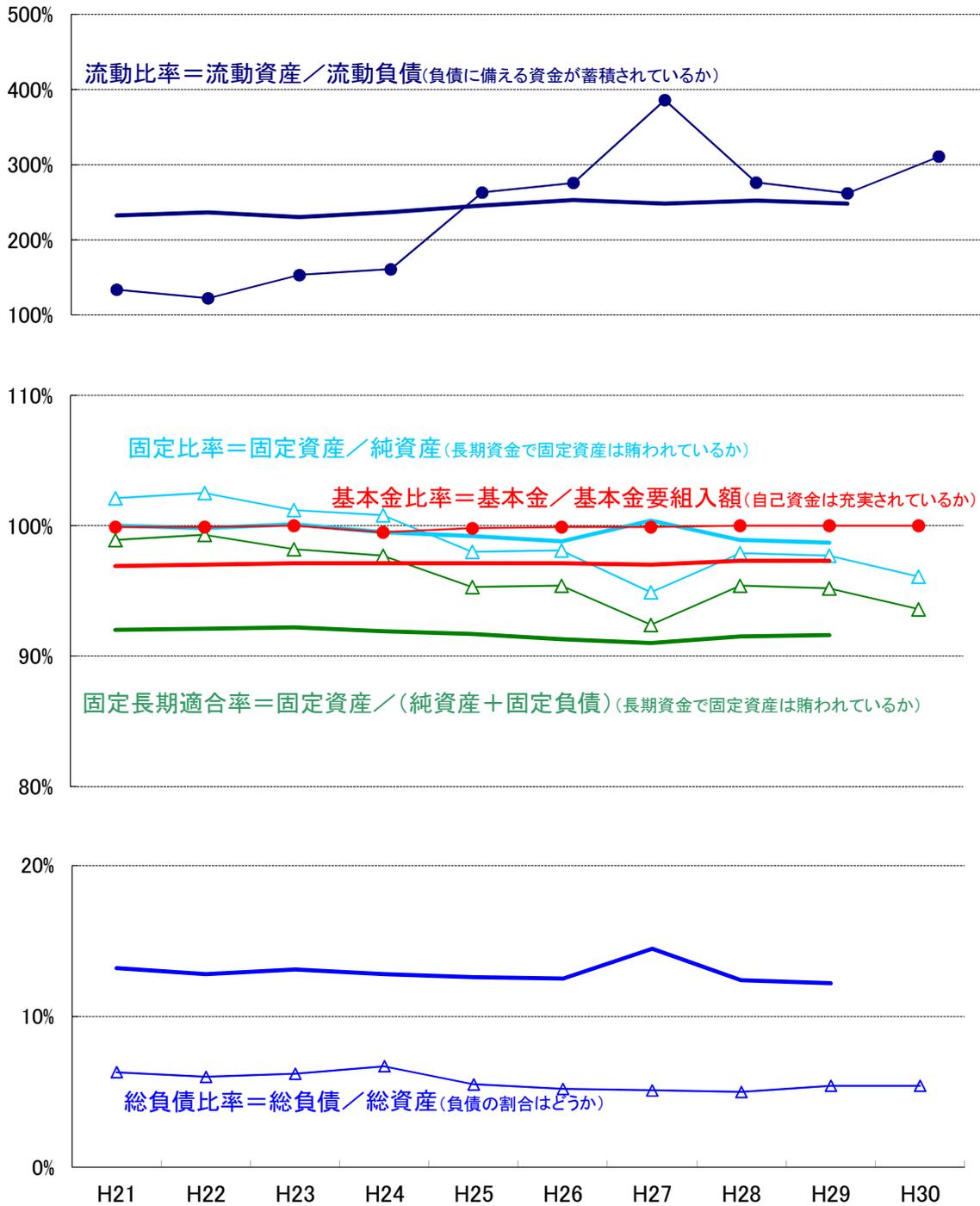
○プロット付折れ線:大妻

○プロット無折れ線:全国大学法人(除医歯系)

○プロット:●=高い方が良い

△=低い方が良い

貸借対照表関係比率(平成21~30年度)



○プロット付折れ線: 大妻

○プロット無折れ線: 全国大学法人(除医歯系)

○プロット: ● = 高い方が良い

△ = 低い方が良い